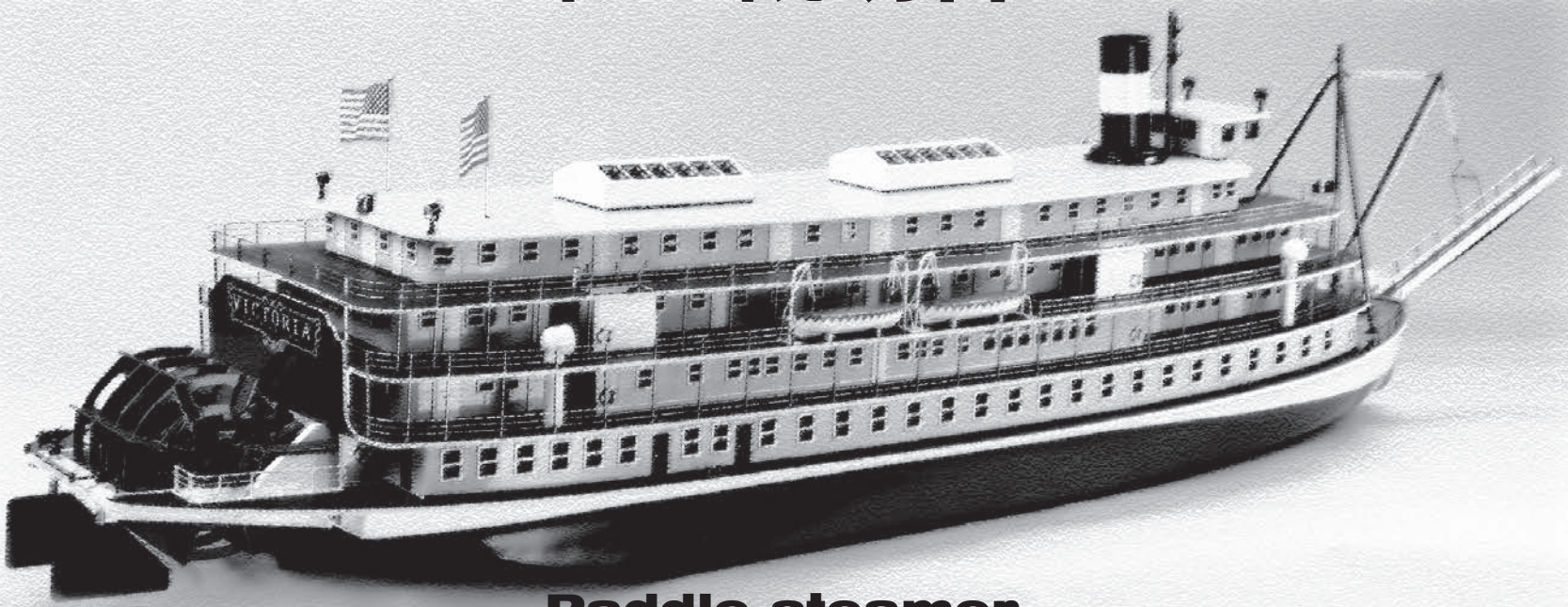
SAITO®

スチーム外輪船
ヴィクトリア

組立説明書



Paddle steamer
VICTORIA

諸　元　表

全　　長	1，250 m／m
全　　幅	310 m／m
全　　高	345 m／m
重　　量 (バランスウエイト無)	7　kg
適合エンジン	Y2DR
適合ボイラー	B2F
最低チャンネル数	3CH

組立ての前に

この度は、SAITO Paddle Steamer『VICTORIA』を、お買い上げ頂き誠に有り難う御座居ます。
本船は実船の外輪船を基に当社で独自のデザインにより、名前にふさわしい優雅な外観を持った模型外輪船です。
組立てに入る前に、本説明書を良くお読みになり間違いの内容に組み立てて下さい。

組立てに必要な物

工具

目の細かいノコギリ(ハンドソー)，カッター(大・小)，小さなカンナ(バルサカンナ等)，キリ，ヤスリ(平・丸)，サンドペーパー
ラジオペンチ，ニッパー，⊕・⊖ドライバー，リューター，ピンバイス，クリップ，金づち，定規等

接着剤

下記の接着剤を用途により使い分けします。
組立説明文中は各々 1 2 3 4 の記号で表示します。接着硬化時間の順になっています。

1 瞬間接着剤
現在は用途別に多数市販されていますが、木工用の高粘度、低粘度、２本使用します。
木工用もバルサ用と堅木用が有りますが、ダイカット部品の接着には堅木用を使用します。
2 ５分間エポキシ接着剤
接着硬化時間が短いので、瞬間接着剤と併用すれば工作時間が短縮出来ます。
3 ３０分エポキシ接着剤
4 ６時間エポキシ接着剤
ＦＲＰとベニアフレームの接着に使用します。
尚、２液の混合をドライヤで加熱しながら液状化する迄行いますと、２～３時間で硬化させる事も可能です。
※ ポリエステルパテ
キズ、隙間を修正する為に使用します。

塗料

船体は、ラッカー系またはウレタン系の使い慣れた物が良いでしょう。
小物は色の豊富なプラカラーを使用します。
２４０～８００番程のペーパーを用意しておきましょう。
小物など接着前に塗装した方が良い物が有ります。
組立前に防水塗装も行っておきます。
また組立前に必ず次ページの塗装・仕上 の項目も読んでおきましょう。

塗装・仕上

㊟-塗装は組立や手スリ等の艤装前に始めた方が良い部分も有ります。

⊙ 小くぎ等の大きな穴は、つま楊枝等を接着して埋めます。

⊙ 船体、キャビンハウスに２４０番程度のサンドペーパーを掛け、ラッカーサーフェイサーを塗り、乾燥後、キズ、穴等のパテ埋めをします。
板の目が無くなる迄５～６回作業を繰り返し、サンドペーパーを３００番程度から最後は４００番程のし、下地を作ります。

⊙ 小物部品も取付前に塗装します。
(窓ワク、ドア、ベンリレーター、ボート、マスト他艤装品)

⊙ 上塗りの白を塗り６００～８００番程度のサンドペーパーを掛ける作業を２～３回繰り返し仕上げます。
マストガイドパイプ、ベンチレータ等を、前部甲板に取付けてから㉘(デッキ板)を接着し、つなぎ部分を修正します。

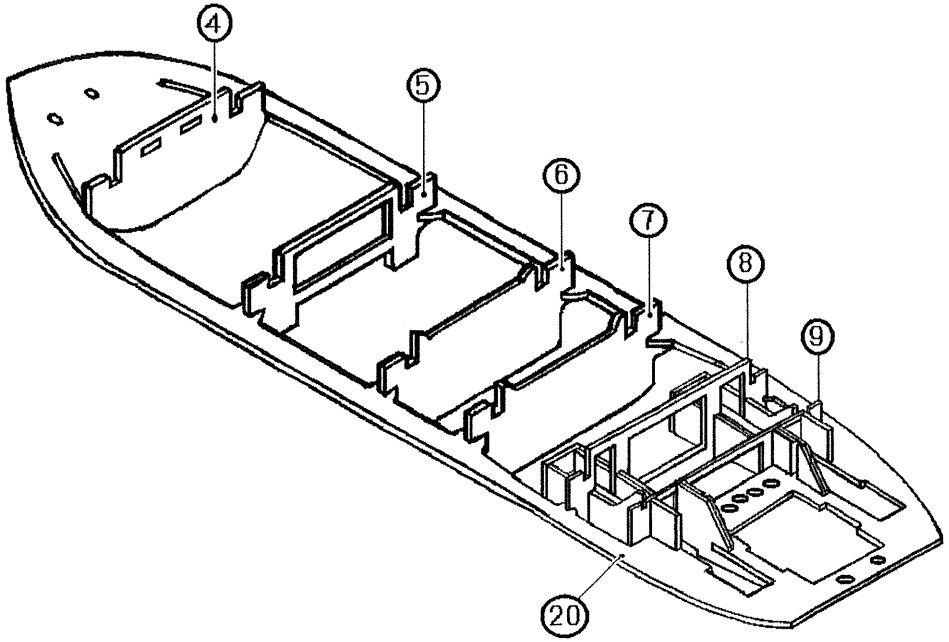
⊙ 船体の吃水線より下を赤で、上を白で塗装し、また後部甲板はマホガニー色の艶消しを塗装します。

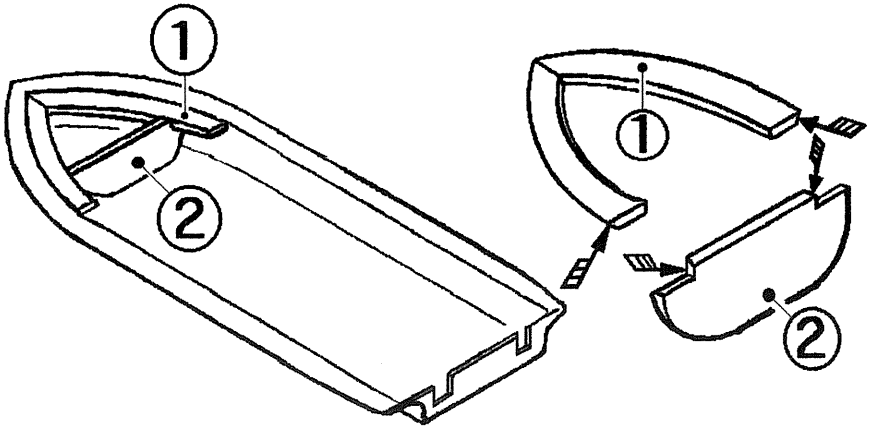
⊙ 他の部分は外箱のカラー写真を参考にして塗装します。
窓穴は浸水しない様に透明エンビ板を裏貼りします。
※ 但し、ボイラー、バーナー(オーバーヒートの恐れが有ります。)部分及び４階部分は除きます。

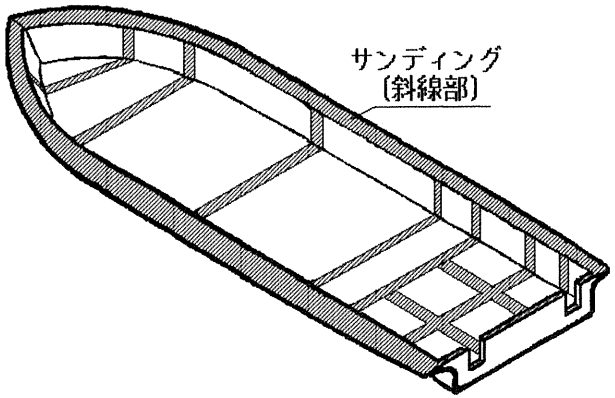
⊙ 細い部分の塗装には、プラカラー等を使うと便利です。

組立１

- ⊙ ＦＲＰ船体に接着するダイカット部品を図の様に仮組し、船体に仮に組込で船体と現物合せして、接着部分をあらかじめサンディングして荒しておきます。
- ⊙ ダイカット部品は取り外しにくい場合、カッター等を使用し無理をせずに外して下さい。
- ⊙ ダイカット部品は、表面をあらかじめ３２０番位のペーパーでサンディングしておけば塗装の時に楽です。
- ⊙ 船体内側の凸凹も出来るだけ平にして下さい。
- ⊙ 接着剤について
  ＦＲＰ船体と各ダイカット部品の接着には③又は④を使用します。
  ダイカット部品同士の接着には①又は②が便利です。
- ※ 船体に接着する前に、仮組をしたフレームを入れ、ベニヤ部品とＦＲＰ船体がきつく当る部分は、ベニヤ部品を削り、歪みやよじれが無い様にする。







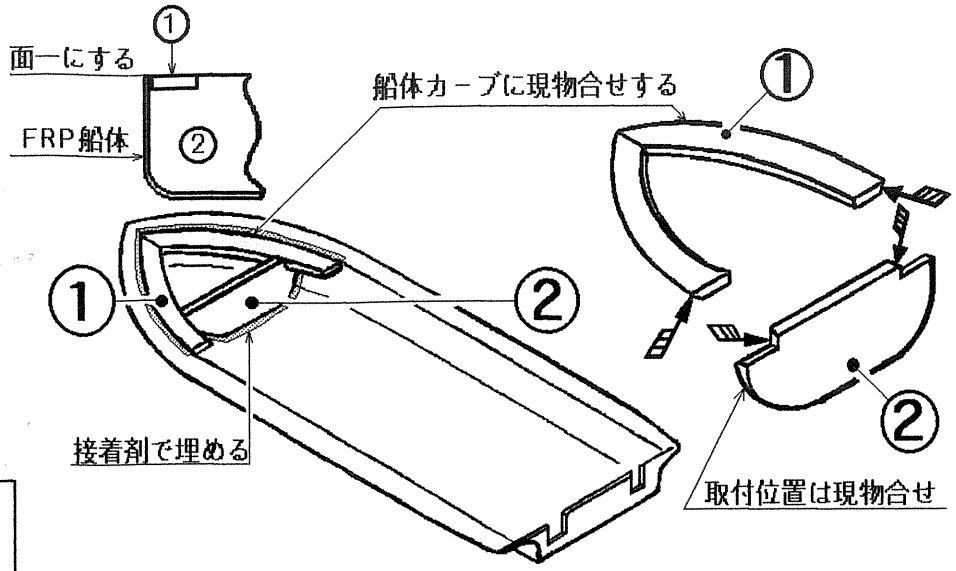
①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立２

⊙ ①はあらかじめ図の様に左右２本を1で接着し、矢印で示した部分はＦＲＰ船体に合う様に接着面を斜めに整形しておきます。

⊙ 船首の部分に図の様に①と②を3又は4を使用して接着しますが、②の位置は船体と現物合せにより決めます。
あらかじめ①と②を接着しておくと、船体への接着が楽になります。

※ 船体内側は平ではない為、②の接着面に隙間が有りますので3又は4で隙間を埋めます。
またその他の接合部にも隙間が有る場合は3又は4で隙間を埋めます。



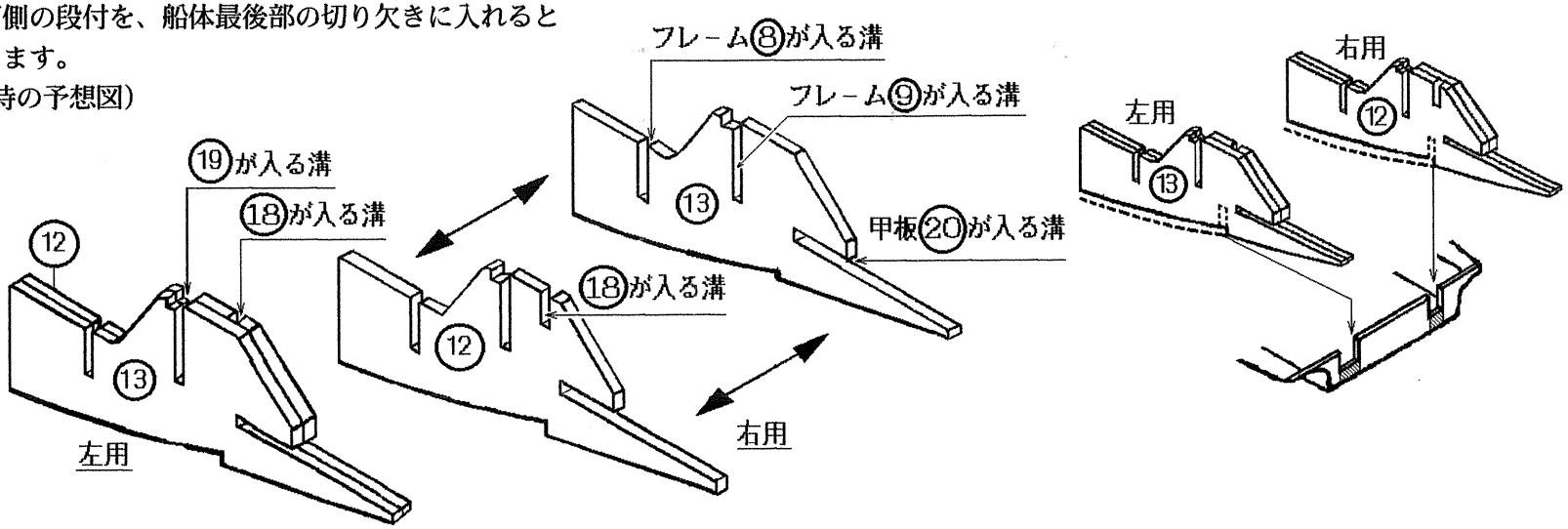
組立３

⊙ ダイカット部品⑫(⑱が入る溝付)と⑬を図の様に2で接着します。

⊙ 図の様に右用、左用で一組になる様にします。
(同じ物を作らない様に注意して下さい。)

※ 甲板に組付た時に⑱が入る溝同士が向い合う様になります。

⊙ 図の様にこの部品の下側の段付を、船体最後部の切り欠きに入れると甲板⑳の位置が決まります。
(点線は船体に入れた時の予想図)



1:瞬間接着剤，　2:５分間エポキシ接着剤，　3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

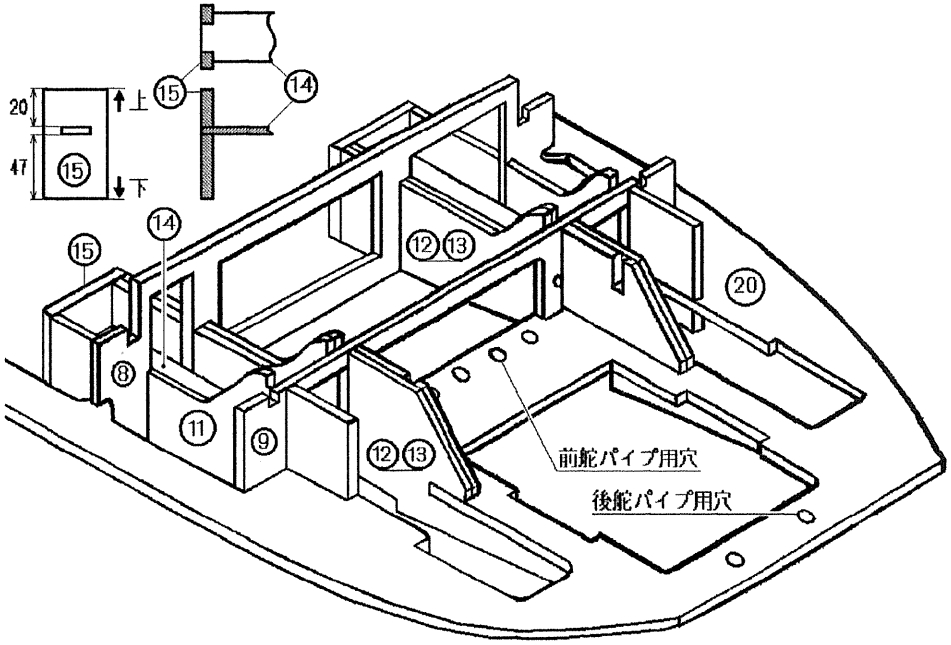
組立４

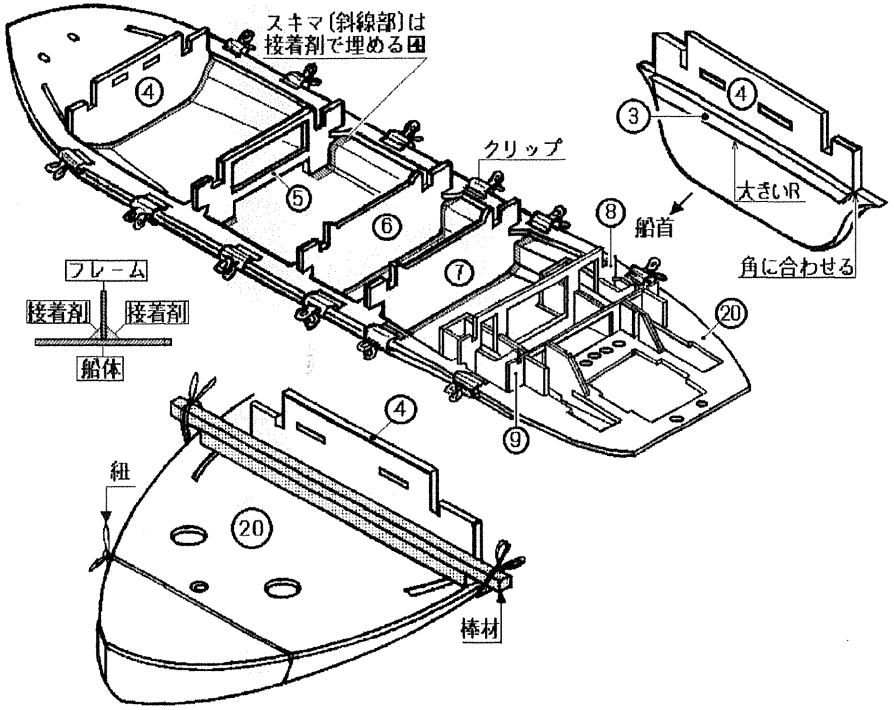
⊙ 甲板とフレームを接着する前に、溝にフレームが入りにくい場合は、ヤスリ等であらかじめガタ目にしておきます。
⊙ 接着した⑫、⑬と⑪の溝にフレーム⑧、⑨を入れながら甲板⑳の船尾に3で接着し、同時に⑭、⑮も1又は2で接着します。

※ ㊟ー⑮には上・下・左・右が有るので間違わないようにします。

⊙ ④フレームを甲板に接着する前に③を1で接着しておきます。③の大きいＲは、甲板⑳にＲを付ける為の物です。
⊙ ④、⑤、⑥、⑦フレームを順に甲板⑳に接着後、図の様に船体に4で接着します。
⊙ ④フレームと甲板⑳は棒材２本及び紐等で固定し、甲板⑳と船体は、外周をクリップ等でとめておきます。

※ ㊟ー隙間は4接着剤で埋めます。

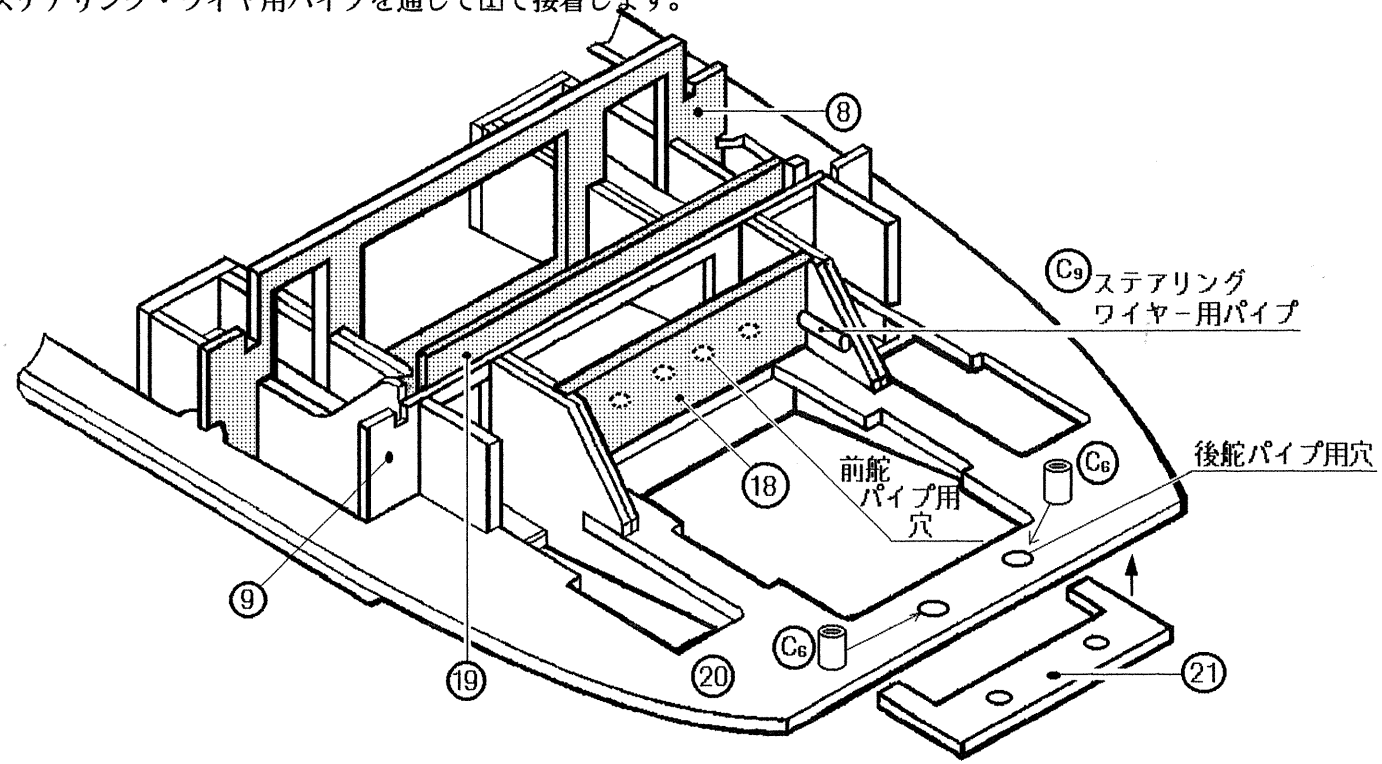


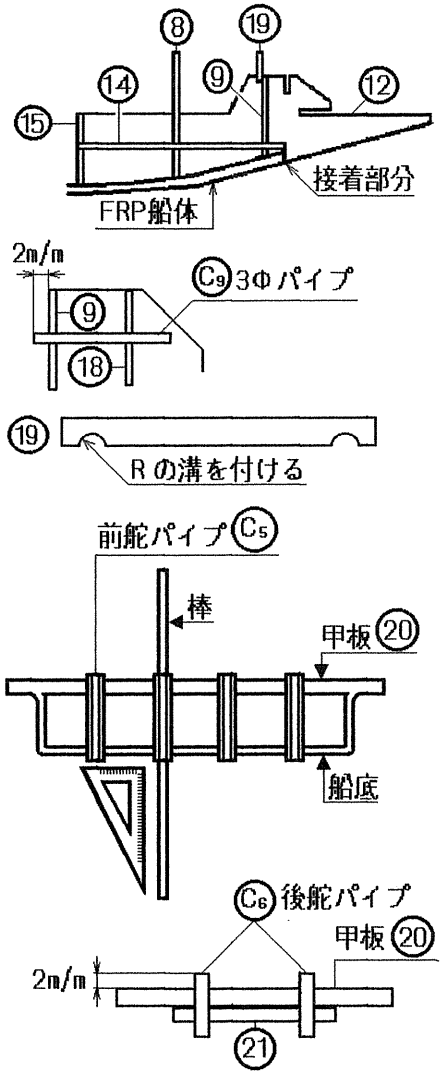


1:瞬間接着剤，　2:５分間エポキシ接着剤，　3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

組立5

⊙ 甲板⑳の４つの前舵パイプ用穴からＦＲＰ船体に垂直に穴を空けます。
舵穴に Ⓒ₅前舵パイプ ４本を③で接着します。
図の様にパイプに適当な棒を通し、船底と垂直になっているか定規等で
確認して下さい。
⊙ ⑲を⑨フレーム の上部の横の溝に①または②で接着します。
※ ㊟ー⑲は外輪の駆動ロッドが当る場合は、図の様に当らない様にカットします。
⊙ 前舵パイプ取付後⑱を①または②で接着します。
⊙ ㉑を船尾の後舵穴に合わせて①または②で接着します。
⊙ 同時に後舵パイプⒸ₆を差し込み接着します。
⊙ Ⓒ₉ステアリング・ワイヤ用パイプを通して①で接着します。

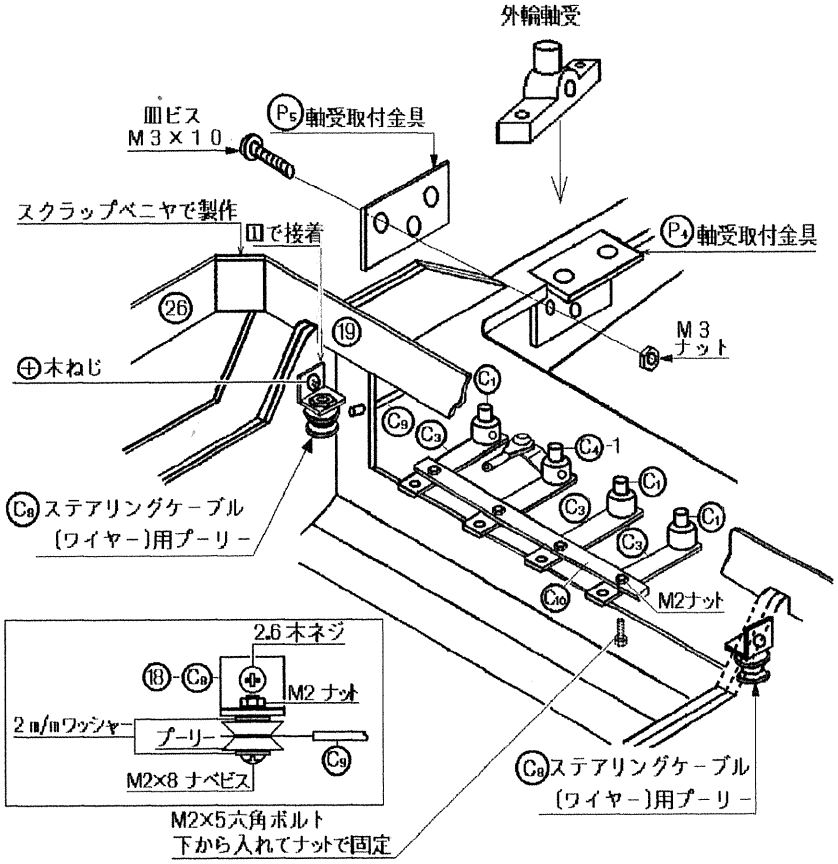


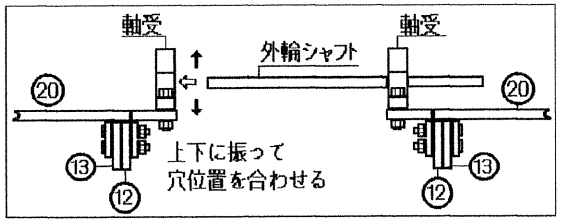


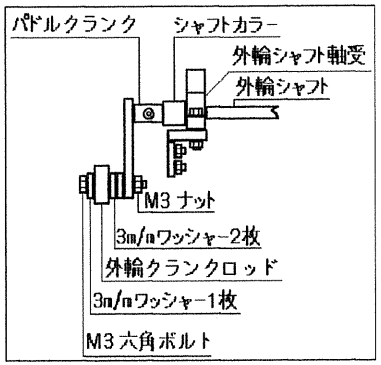
①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

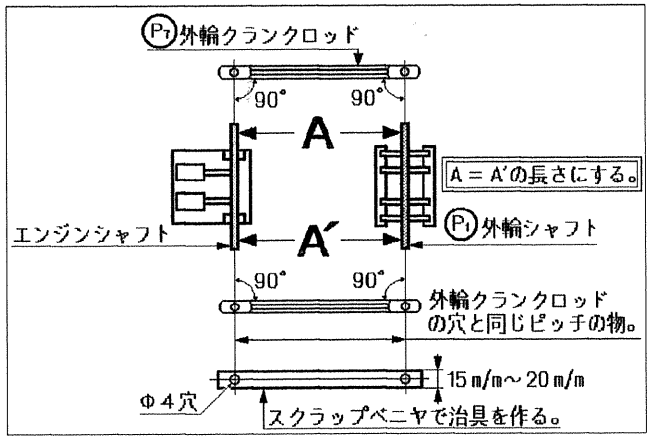
組立6

- ⊙ 図の様に横のフレームに、ステアリングケーブル用プーリー２個を左右にそれぞれ木ねじで取付ます。
- ⊙ 軸受取付金具Ⓟ₆、Ⓟ₅は、図の様にＭ３×１０⊕ビスとナットでフレームに取付ます。
- ⊙ 塗装前に各メカの搭載図を参照して、エンジンなどを仮に搭載してバランスを確認しておきます。
- ⊙ エンジンは、外輪を軸受に正確に取付、外輪シャフトとエンジンシャフトが平行になる様にロッドを使用して位置を定めます。また、図の様なスクラップベニアで治具を作って合わせる方法もあります。
- ⊙ いずれにしても、エンジンシャフトと外輪シャフトにロッドを連結した状態で軽く回る迄調整し、確認します。

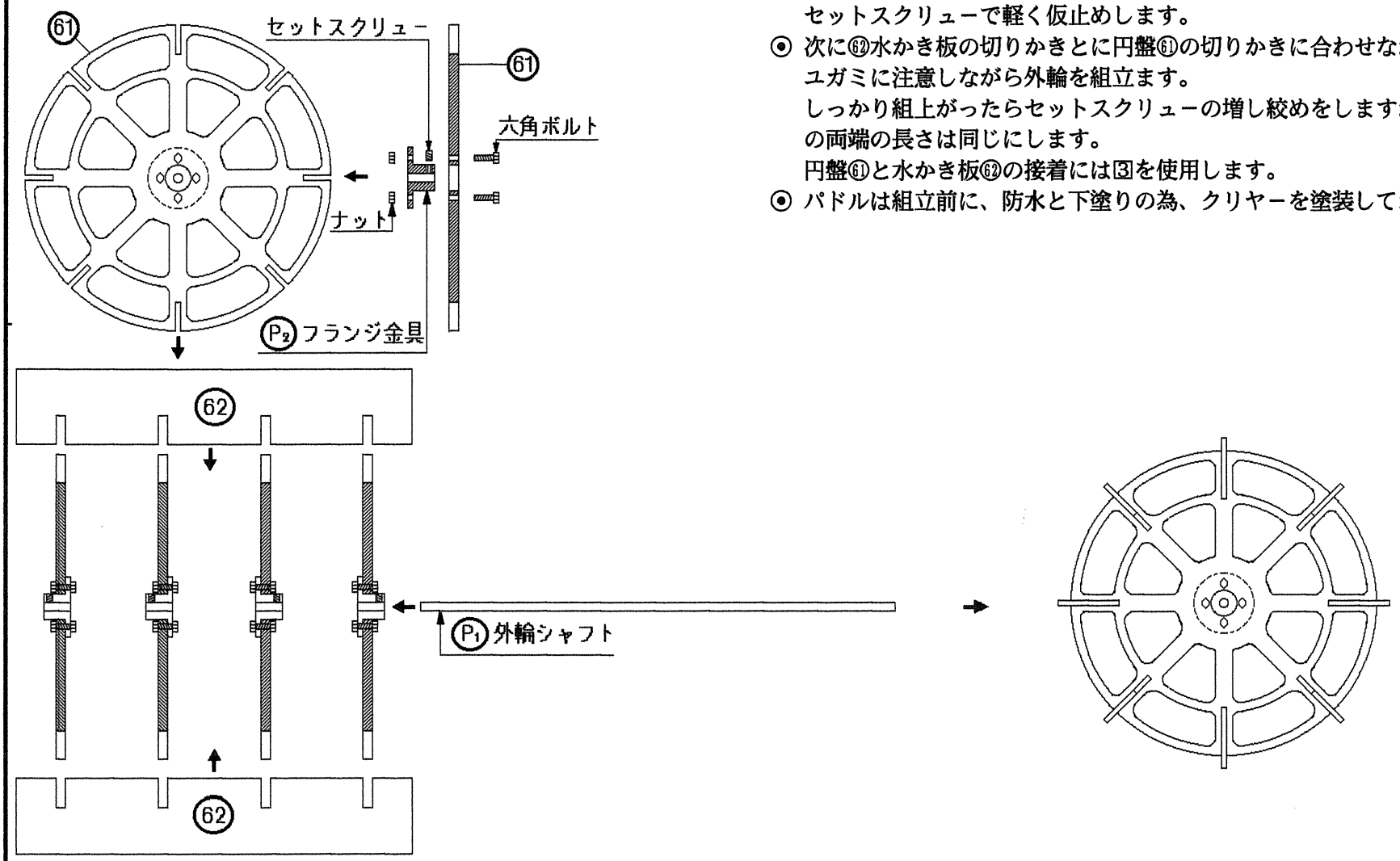








組立７



◉ 外輪（パドル・ホウィール）は、まず図の様に円盤⑥①に㊁フランジ金具を差し込み六角ボルトとナットで固定します。

◉ 出来上がった円板を図の様に並べ（２枚づつ同じ方向）㊀外輪シャフトを通してセットスクリューで軽く仮止めします。

◉ 次に⑥②水かき板の切りかきとに円盤⑥①の切りかきに合わせながら差し込み全体のユガミに注意しながら外輪を組立ます。
しっかり組上がったらセットスクリューの増し絞めをしますが、㊀外輪シャフトの両端の長さは同じにします。
円盤⑥①と水かき板⑥②の接着には③を使用します。

◉ パドルは組立前に、防水と下塗りの為、クリヤーを塗装してから組立てる。

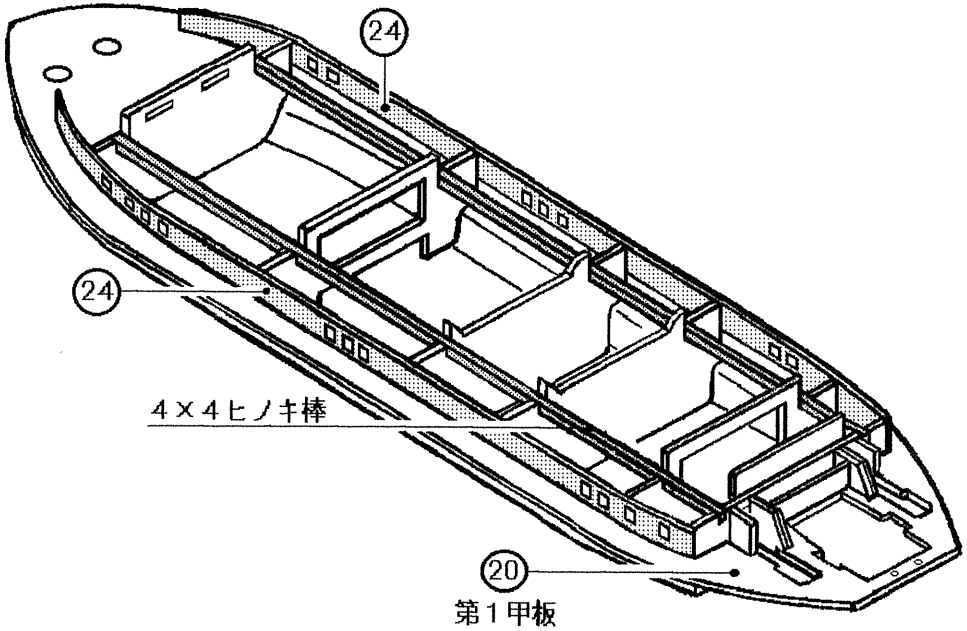
①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

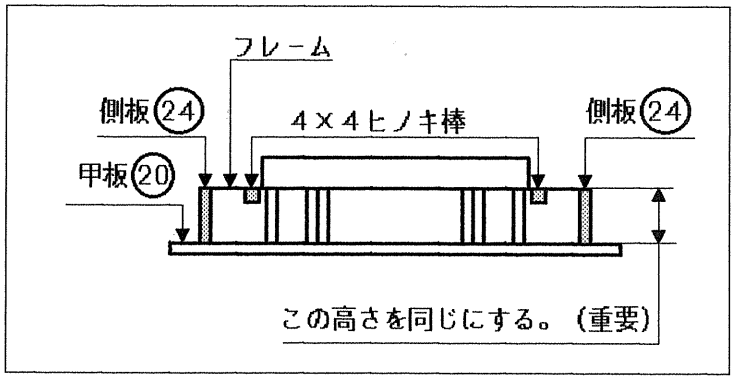
組立８

⊙ 図の様に側板㉔ を各フレームと甲板⑳ に①と②を使用して接着します。

⊙ 縦通材４×４ヒノキ棒を、図の様に各フレームの溝に①と②を使用して接着します。

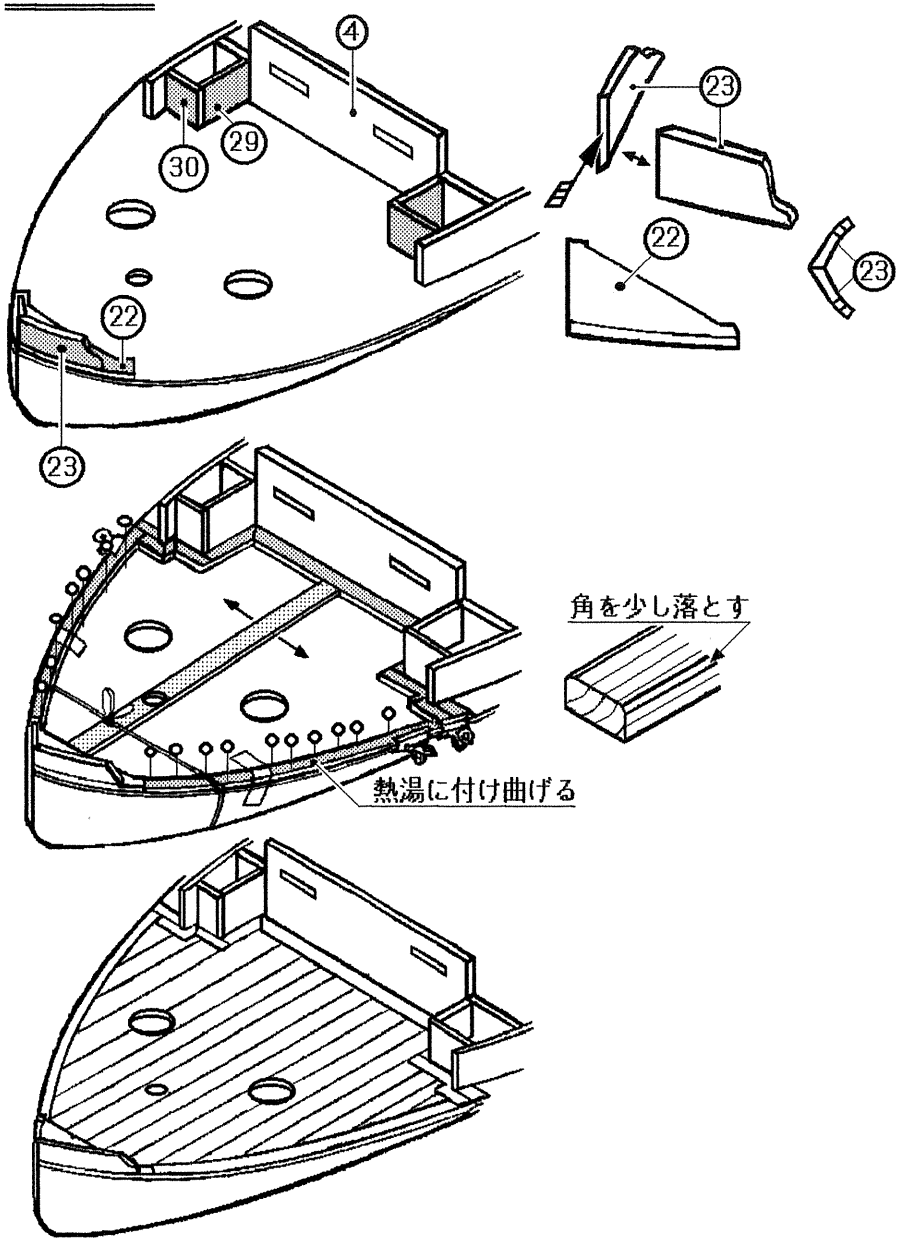
※㊟ー 各フレームと側板㉔ および 縦通材４×４ヒノキ棒の上面の高さが同じになるように溝の深さを確認してから接着します。





①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立9



⊙ 図の様に、㉓の矢印の部分を斜めにカットし左右を①、②を使用して接着後㉒の上に①、②を使用して接着します。

⊙ 乾燥後、図の様に船首に①、②を使用して接着しますが、同時に㉙、㉚も①②を使用して接着します。

⊙ 次に甲板材１.５×６×６００を必要な長さにカットして、船首の外周およびフレーム④、㉙、㉚、㉒に沿って図の様に①、②を使用して貼り付けます。

※ カーブがきつい部分は、あらかじめ熱湯に付けて曲げぐせをつけておきます。また接着剤が乾く迄図の様にクリップ、テープ、紐等で固定しておきます。尚内側に図の様にピンを立てておくとづれ防止に便利です。

⊙ 船首部全面に貼る甲板材は、図の矢印の様に中央から左右に貼っていきます。尚、ベンチレーターとマスト取付穴は貼りながら空けていきます。

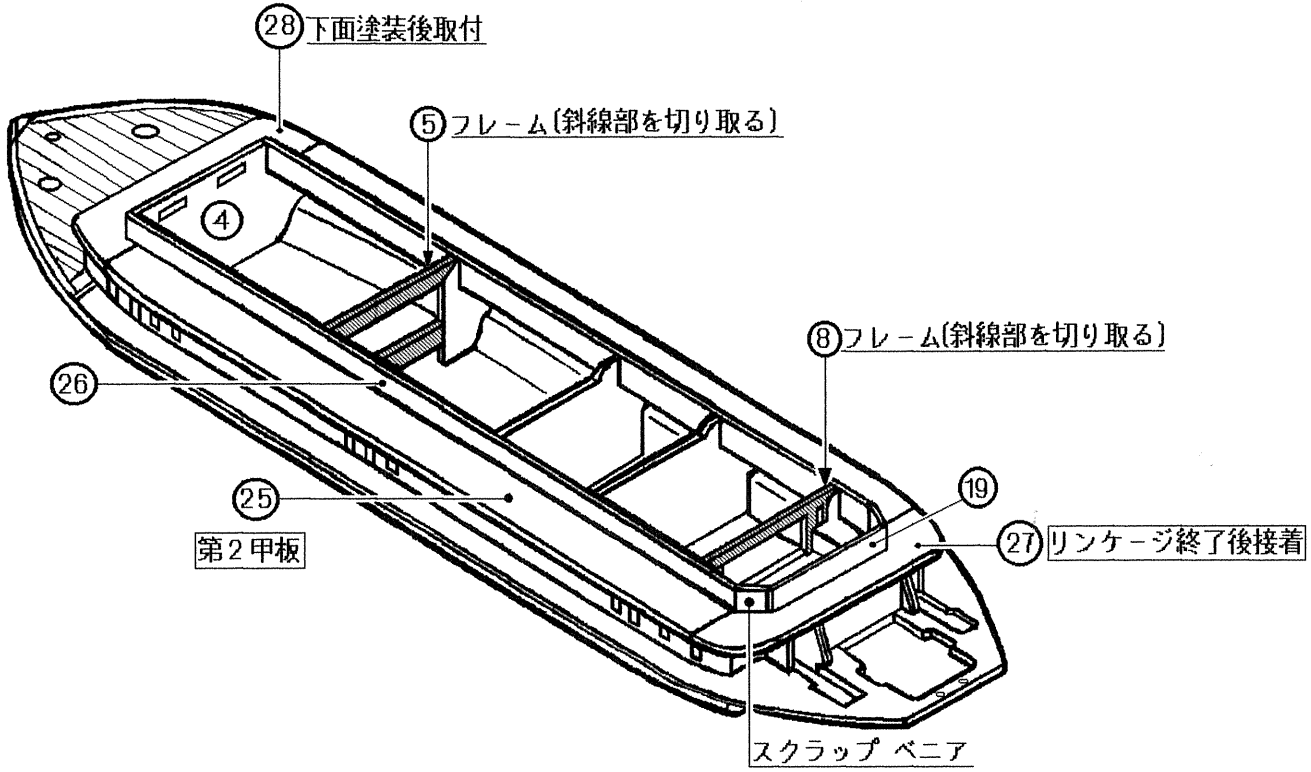
㊟ー棒材は図の様に角を少し落とすと１本、１本がはっきりします。

⊙ 甲板部分は全塗装の前に、先に塗装をしてマスキングしておく事を、お薦めします。

①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

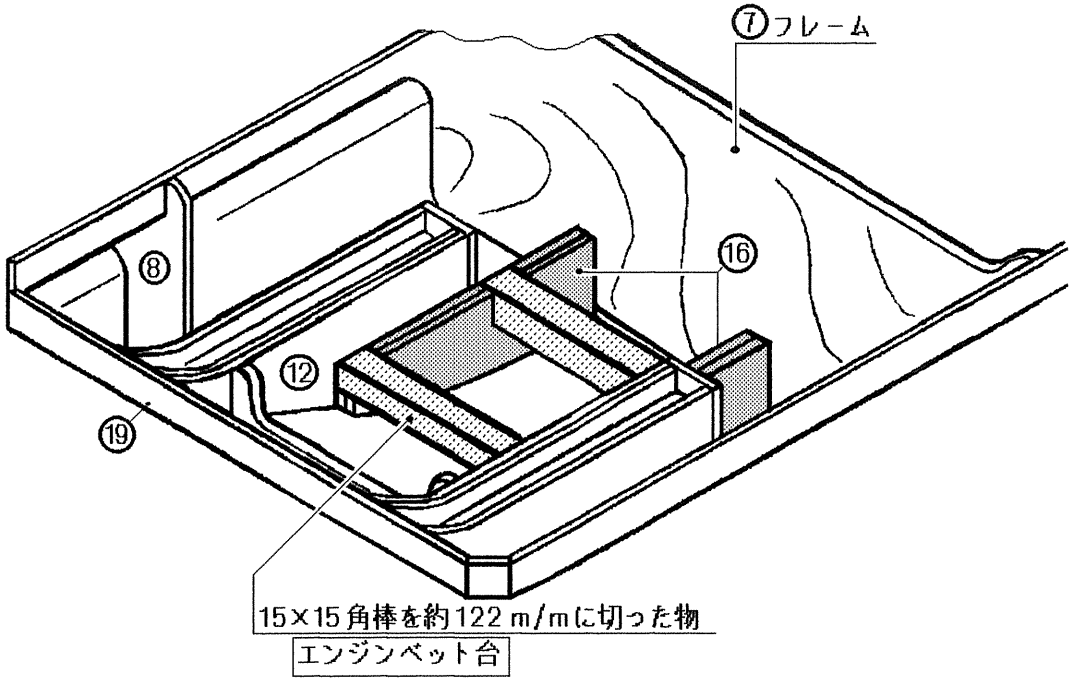
組立１０

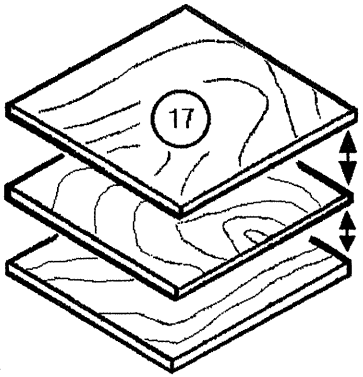
⊙ 図の様に第２甲板㉕、㉖を1、2を使用して左右に接着します。
⊙ ㉖の後部の角は、スクラップベニアを1、2を使用して⑲につながる様に接着します。
⊙ ㉘は、下面を塗装後1、2を使用して接着します。
⊙ フレーム⑤及び⑧は接着剤が乾燥後、斜線部を切り取ります。



1:瞬間接着剤，　2:５分間エポキシ接着剤，　3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

組立１１





⊙ ⑯は図の様に、２枚を2、3を使用して接着した物を２組造り⑫の内側の左右と⑦フレームに2、3を使用して接着します。

⊙ ⑯の溝に図の様に、１５×１５ヒノキ角棒を長さ１２２m/mに切った物２本を渡して2、3を使用して接着します。

⊙ ⑰エンジンベットは図の様に、接着剤2、3を使用して３枚を重ねる様に貼り合わせて作ります。

尚、⑰エンジンベットは１５×１５の角材に木ねじ４本で取付けます。

※ 以上で船体は生地完成となります。

㊟－＊ 各フレームとＦＲＰの隙間は防水の為、しっかりエポキシ系接着剤で埋める様にします。

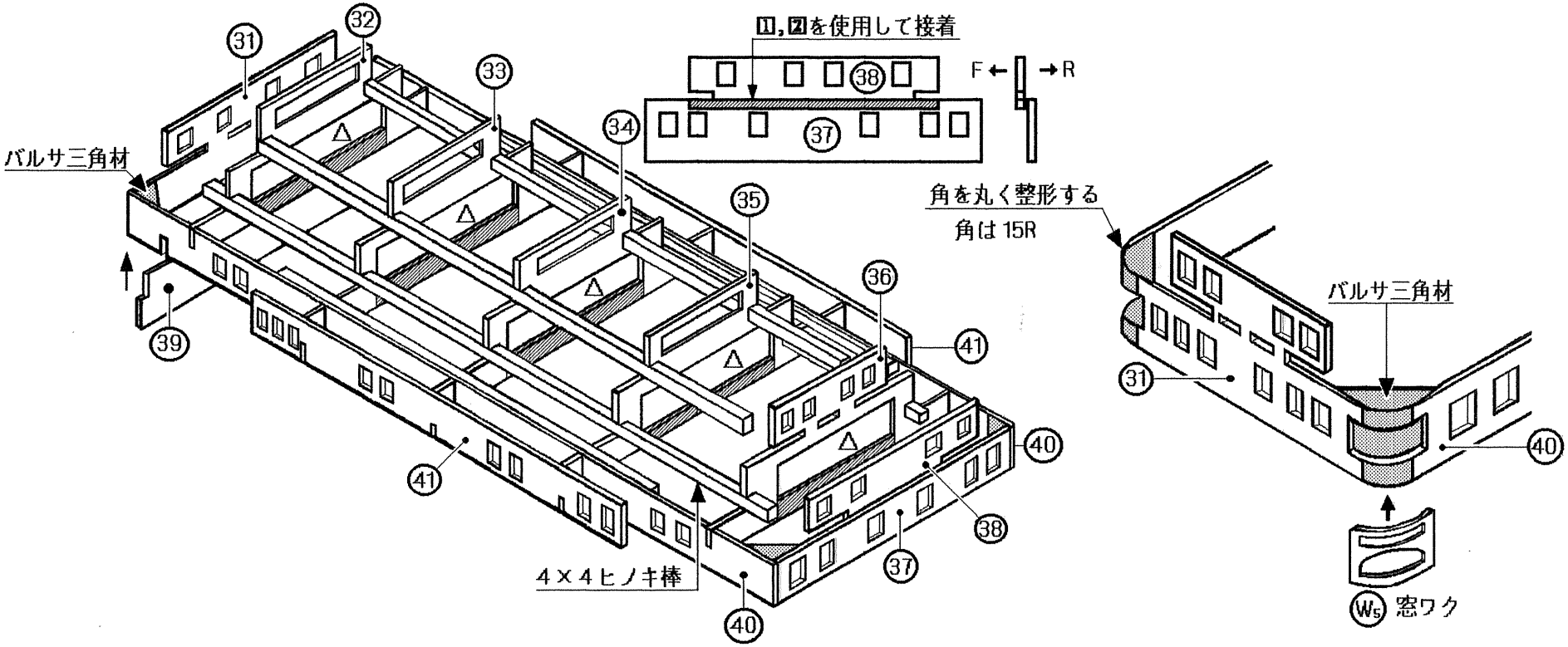
＊ ダイカット部品の隙間は、木工パテ、ポリパテで修正します。

＊ 図の⑧フレームはカット後の形状図です。

1:瞬間接着剤， 2:５分間エポキシ接着剤， 3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

組立１２

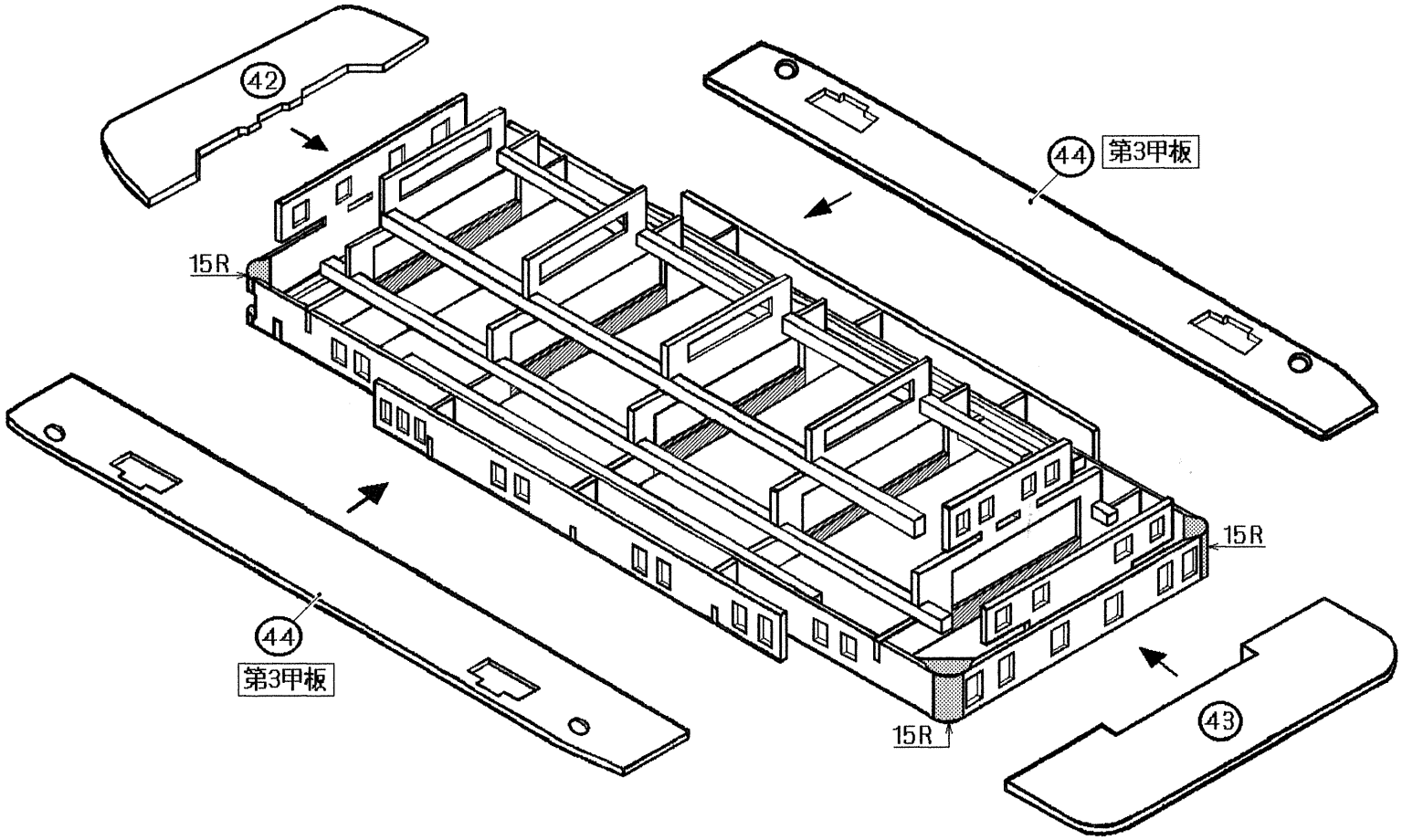
- ⊙ 図の様に側板㊵にフレーム㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲を①、②を使用して接着します。
- ⊙ ㊳は図の様に㊲の内側上部に①、②を使用して接着します。
- ⊙ 必要な長さにカットしたバルサ三角材を図の様に角に①、②を使用して接着します。
- ⊙ 必要な長さにカットした４×４ヒノキ棒を図の様に①、②を使用して接着します。
- ⊙ ㊴は㉛と㉜の中間に下から差し込む様にして①、②を使用して接着します。
- ⊙ ㊶は図の様に左右に①、②を使用して接着します。
- ⊙ 図の斜線部（△の部分）は組立完成後カットします。
- ⊙ 枠組みが完成したら、バルサ三角材を接着してある角を図の様に丸く（約１５Ｒ）整形します。
- ⊙ 整形した後、フレーム㉛と側板㊵の交わる角部は、図の様に窓ワクW_5の穴をあけます。



①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立１３

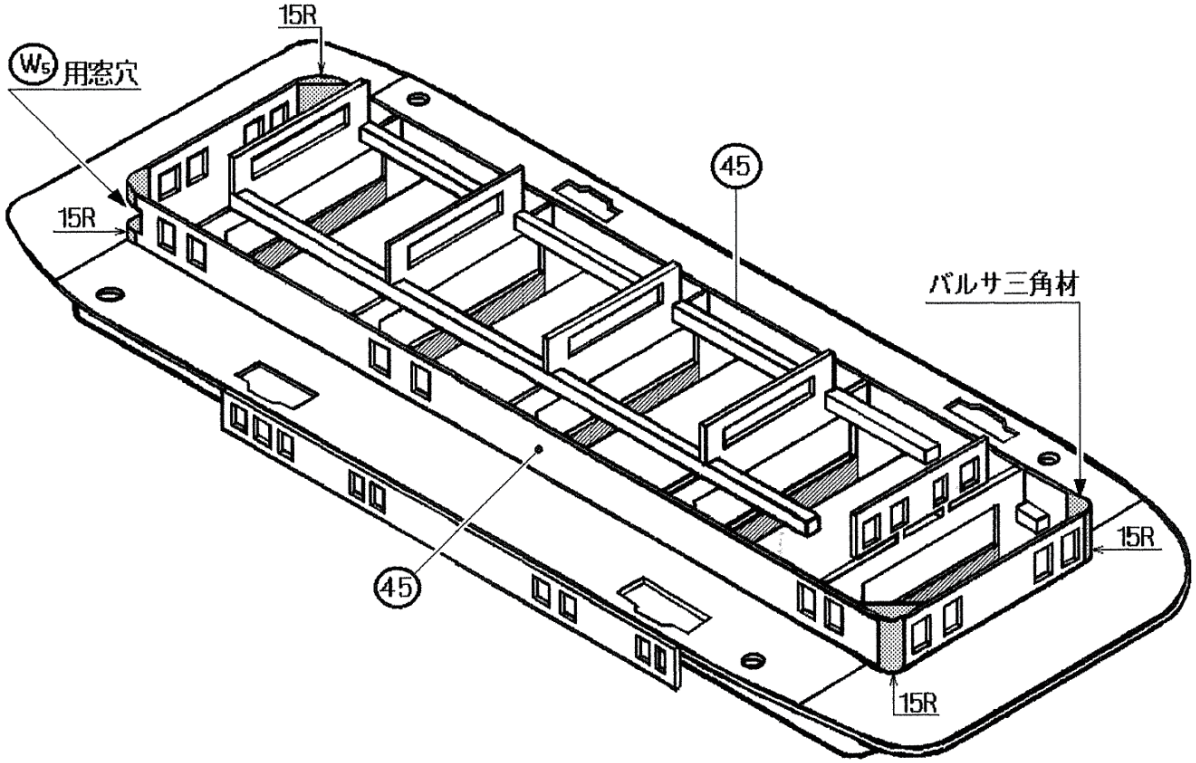
⊙ デッキ板㊷、㊸、㊹（第３甲板）を図の様に①、②を使用して接着します。
⊙ デッキ板㊹は反り返っているのでクリップ、テープ等で仮止めしておきます。



①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立１４

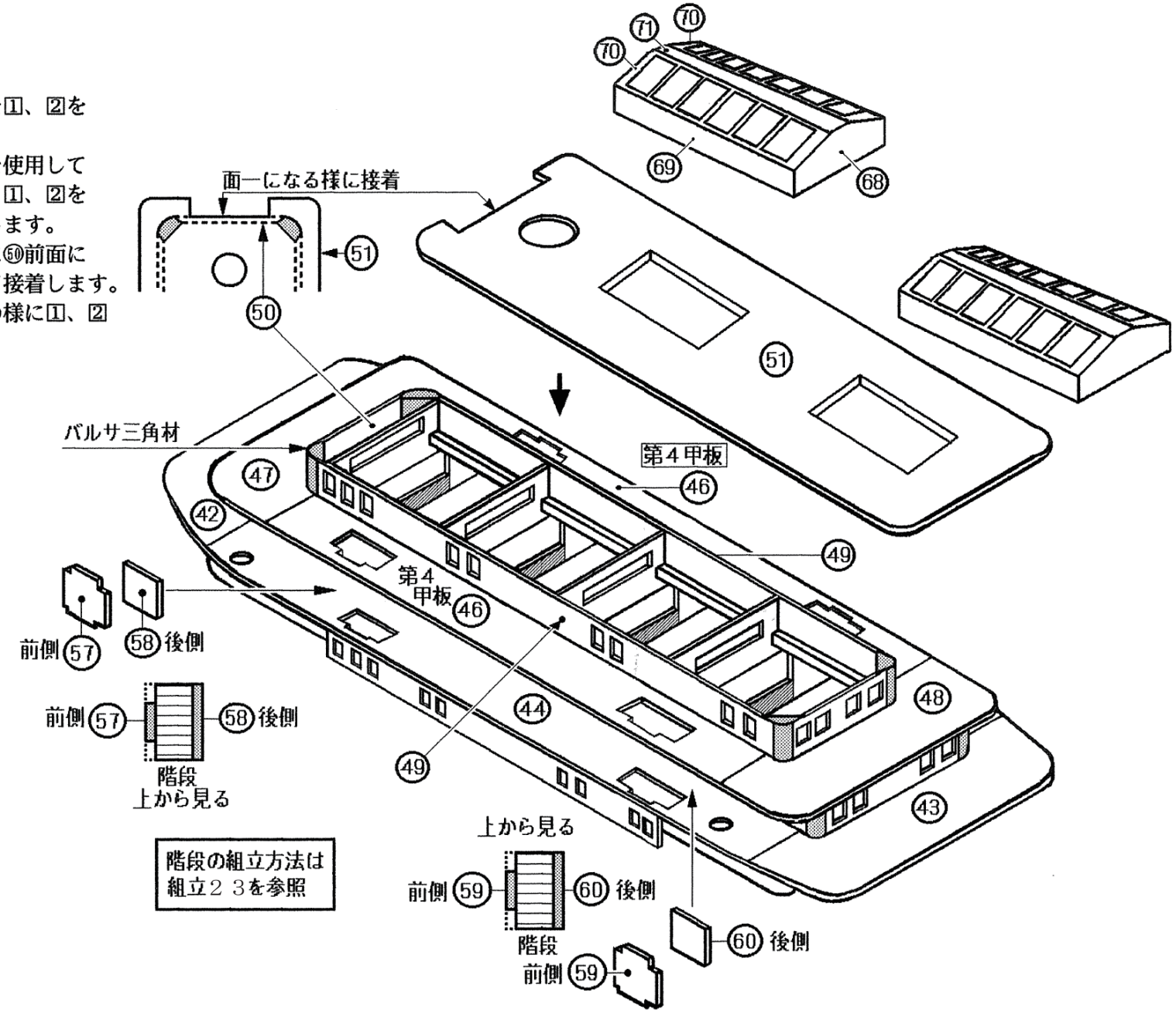
⊙ ㊺側板を図の様に左右に1または2を使用して接着後、角にバルサ三角材を1または2を使用して接着します。
⊙ 角は組立１２の様に整形して丸く（約１５Ｒ）します。
⊙ 前方の角の左右は、組立１２の様に窓ワクW5を取り付けられる様に穴をあけます。



1:瞬間接着剤，　2:５分間エポキシ接着剤，　3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

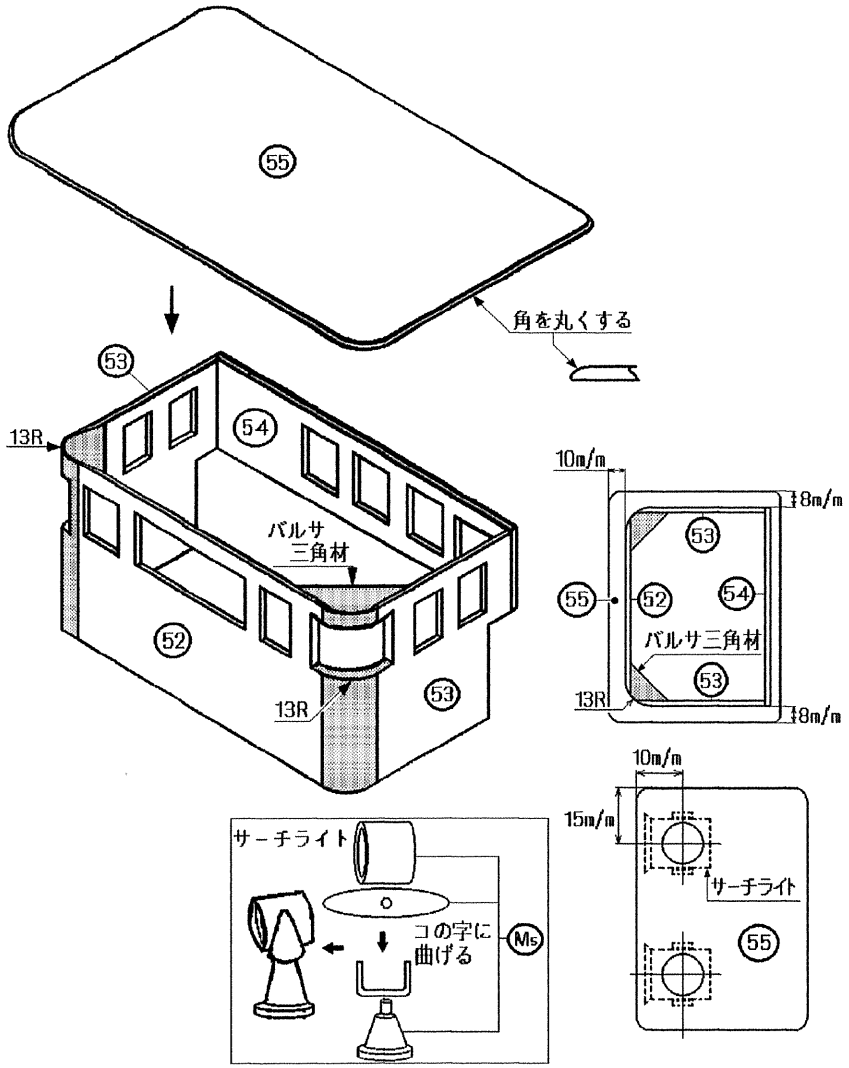
組立１５

- ⊙ 図の様にデッキ板㊻、㊼、㊽を①、②を使用して接着します。
- ⊙ 側板㊾と㊿を図の様に①、②を使用して接着後、角にバルサ三角材を ①、②を使用して接着し角を丸く整形します。
- ⊙ 51のコの字の部分を、図の様に㊿前面に面一で合わせ①、②を使用して接着します。
- ⊙ 階段側板57、58、59、60を図の様に①、②を使用して接着します。



①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

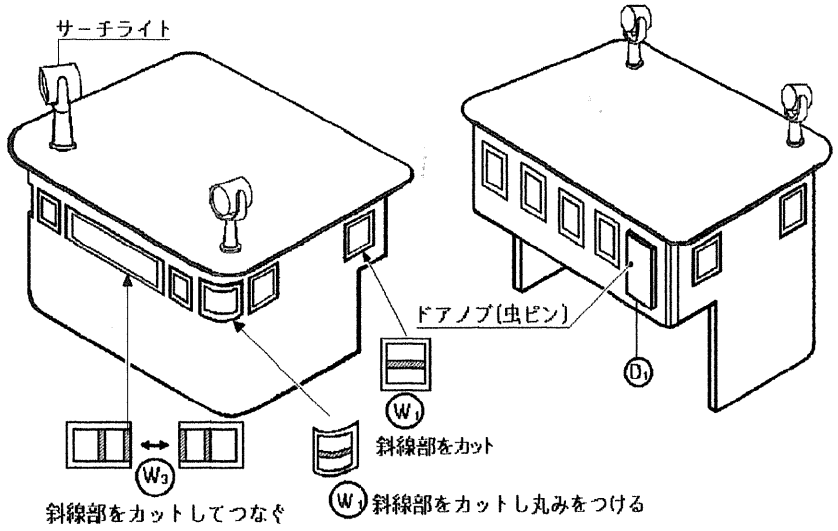
組立１６



⊙ 図の様に、ブリッジ52、53、54を1、2を使用して接着します。
⊙ 角は図の様に、バルサ三角材を1、2を使用して接着します。
⊙ 乾燥後図の様に、丸く（約１３Ｒ）整形後、窓穴をあけます。
⊙ 最後に天板55を1、2を使用して接着します。
天板の取付位置は図の寸法を参考にして下さい。
⊙ 図の様にブリッジの窓ワクは、W1、W3を加工した物を使用します。

※ 注意－図に示したW1、W3の斜線部をカットする場合は、ニッパーでカットすると変形するので、必ず糸のこでカットして下さい。

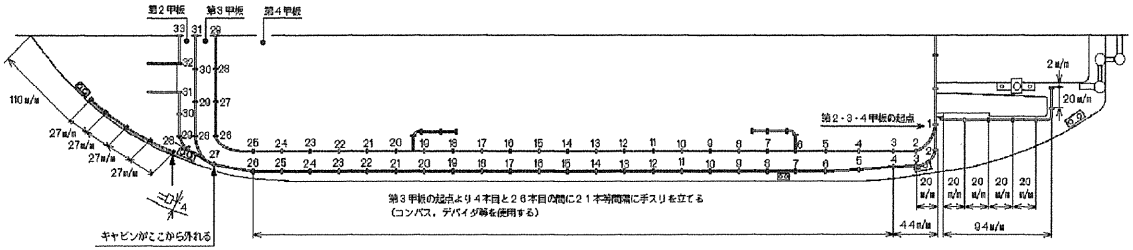
⊙ サーチライトM5は図の様にして４コ作製します。
ブリッジには、図の寸法の位置に２コ取付けます。
尚、取付はこの段階でなく、全体の形が出来てからでも構いません。

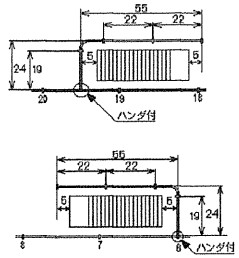


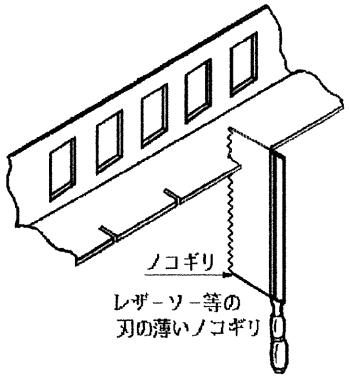
1:瞬間接着剤，　2:５分間エポキシ接着剤，　3:３０分間エポキシ接着剤，4:６時間エポキシ接着剤

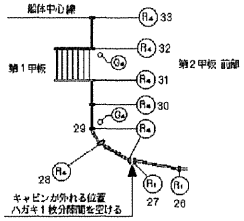
組立１７

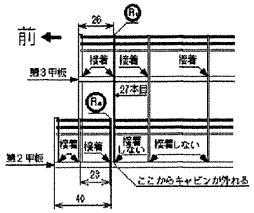
- ⊙ 手スリの組立はこのページの図と次ページの図を良く参照してから行って下さい。
- ⊙ 図の様に、各甲板に手スリが入る溝をノコギリで入れます。（溝の奥行きは手スリ支柱の幅に合わせてさい。）
- ⊙ 手すりの間隔はカーブの部分で変わってくるので現物合わせで行って下さい。
- ⊙ 三段ある甲板の溝は図の様に横から見て一直線になる様に注意深く溝を入れて下さい。
- ⊙ キャビンハウスは手スリ線を張る前に塗装をしておくと、後の作業が楽になります。
- ⊙ キャビンハウスを船体にかぶせ図の様に手すり支柱Ⓡ₁の下端を甲板にのせた位置で溝に①を使用して接着します。
- ⊙ 手スリ支柱Ⓡ₂は、一度溝に入れ位置を定めてから０．８ｍ/ｍドリルで穴をあけ①を使用して接着します。
- ⊙ 真鍮線をつなぐ場所は手スリ支柱に合わせてハンダ付でつなぎます。

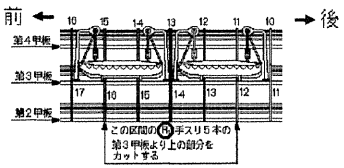


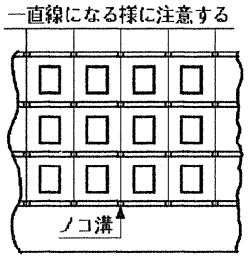


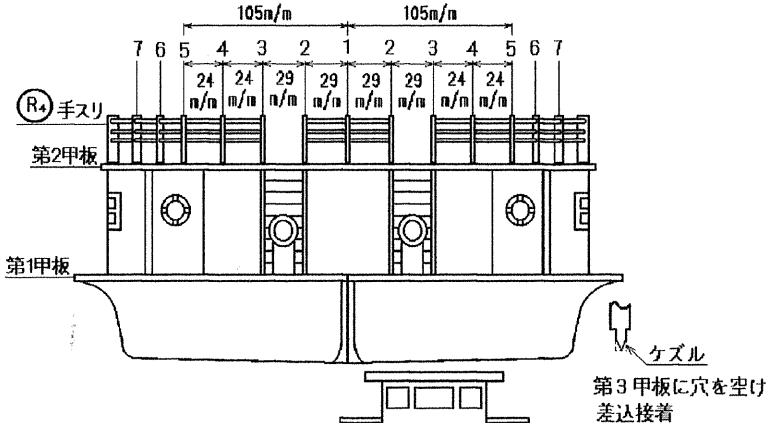


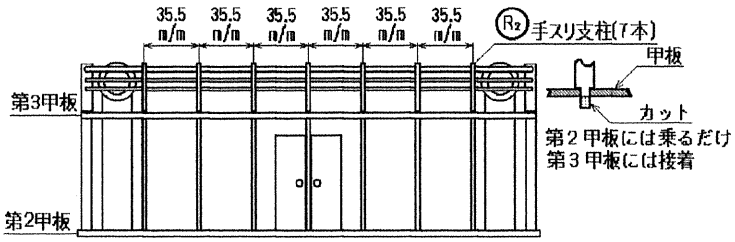


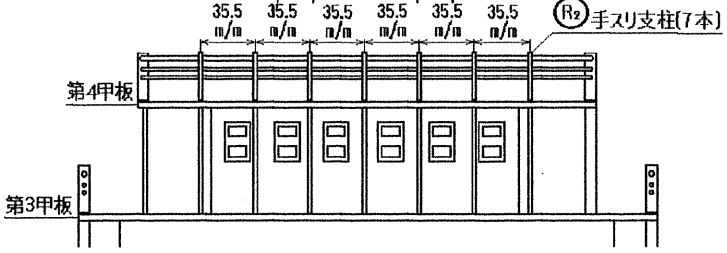




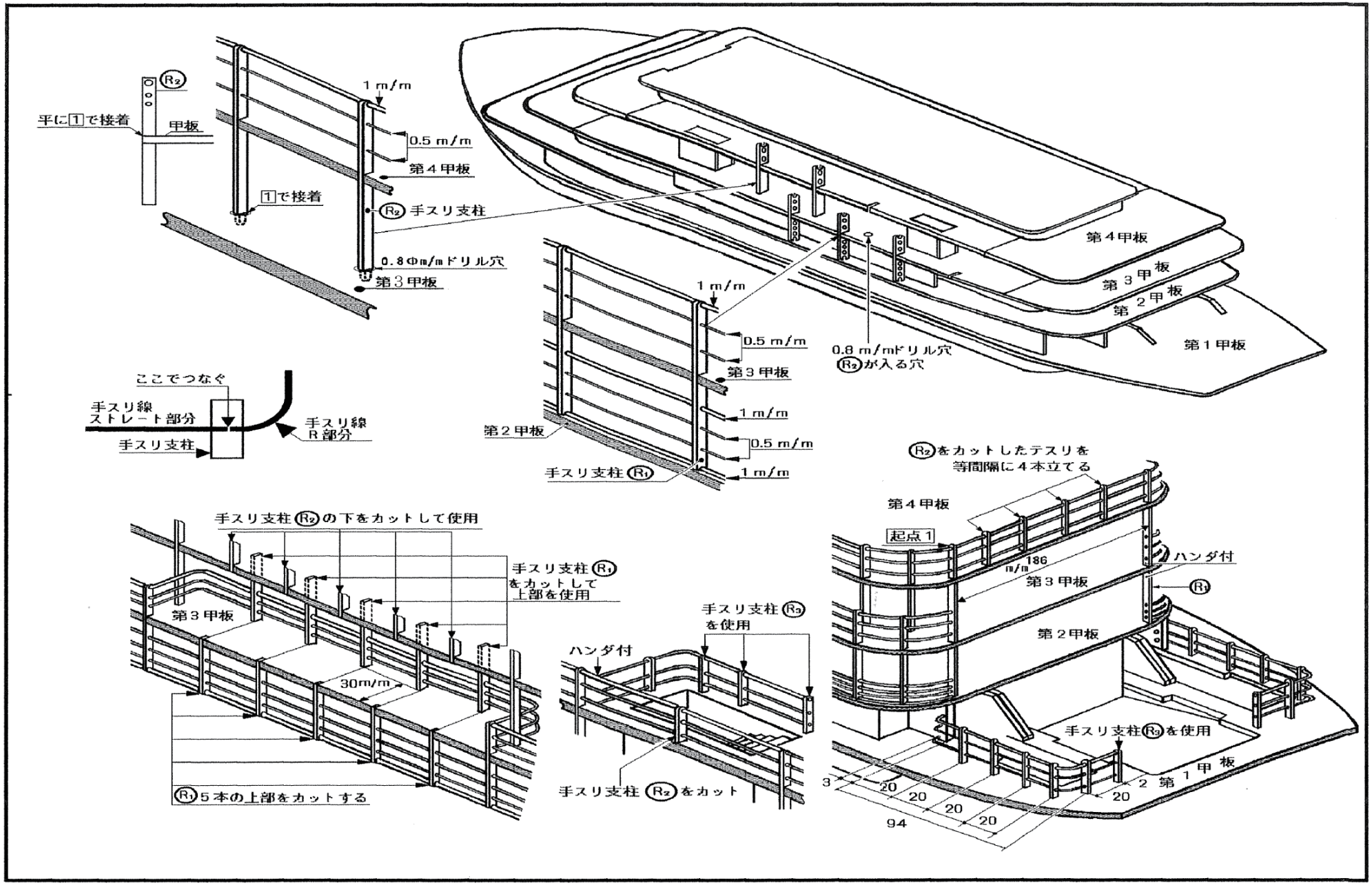








①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤



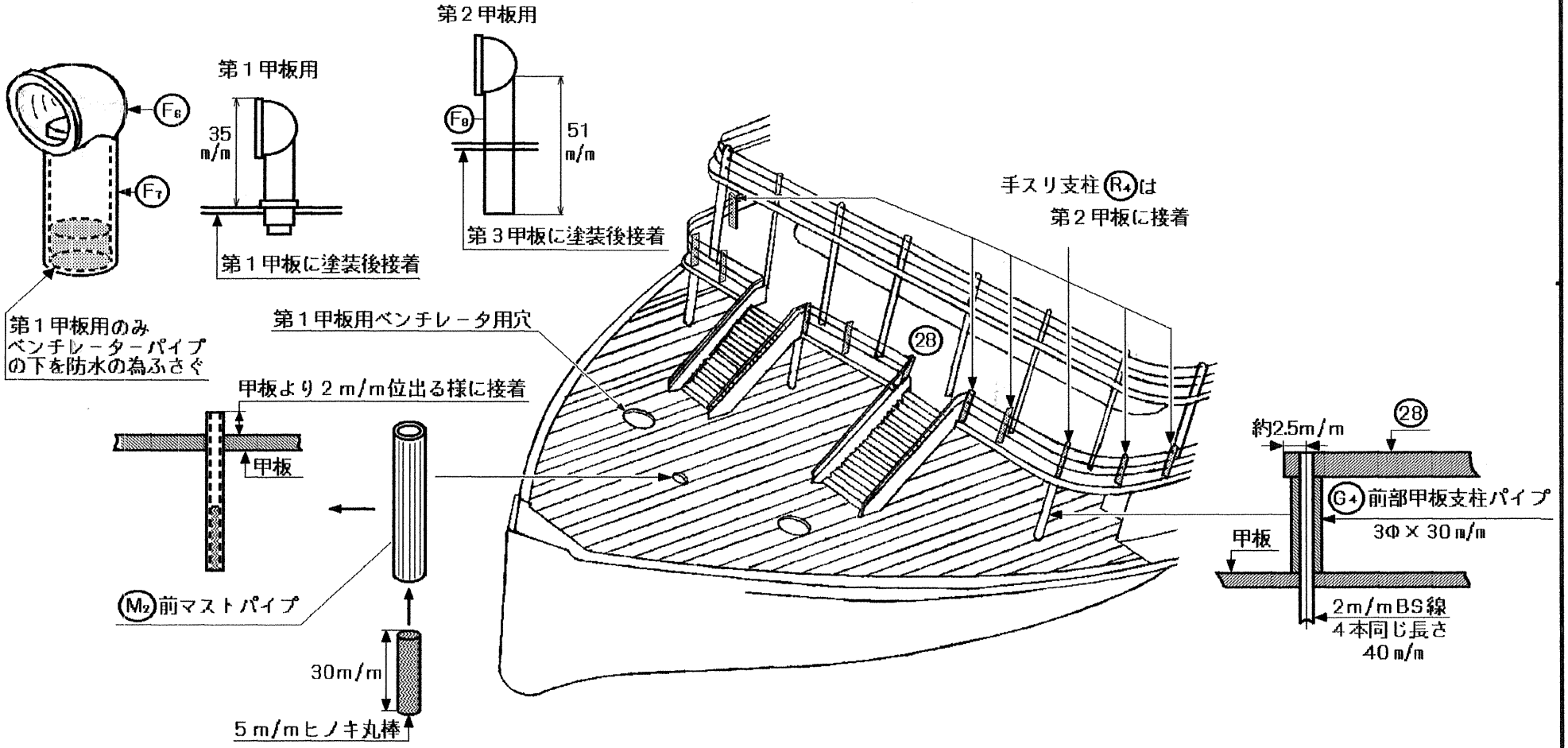
1:瞬間接着剤，　2:5分間エポキシ接着剤，　3:30分間エポキシ接着剤，4:6時間エポキシ接着剤

組立１８

⊙ 前部甲板支柱パイプ４本を図の様に取付けます。
手スリ支柱の位置を考慮して、㉘に２m/mの穴をあけ、支柱パイプの内径と２m/mの穴が合う様にして、支柱パイプを甲板に垂直に立て、支柱パイプをガイドにして甲板に２m/mの穴を㉘から貫通させてあけます。

⊙ 次に図の様に２m/mＢＳ線を①を使用してパイプに接着し、上端を㉘に合わせます。

⊙ マストパイプは下部に５m/mのヒノキ丸棒を①を使用して接着し、船底に②を使用して接着します。
この時マストパイプは図の様に、甲板より２m/m位出る様に接着します。



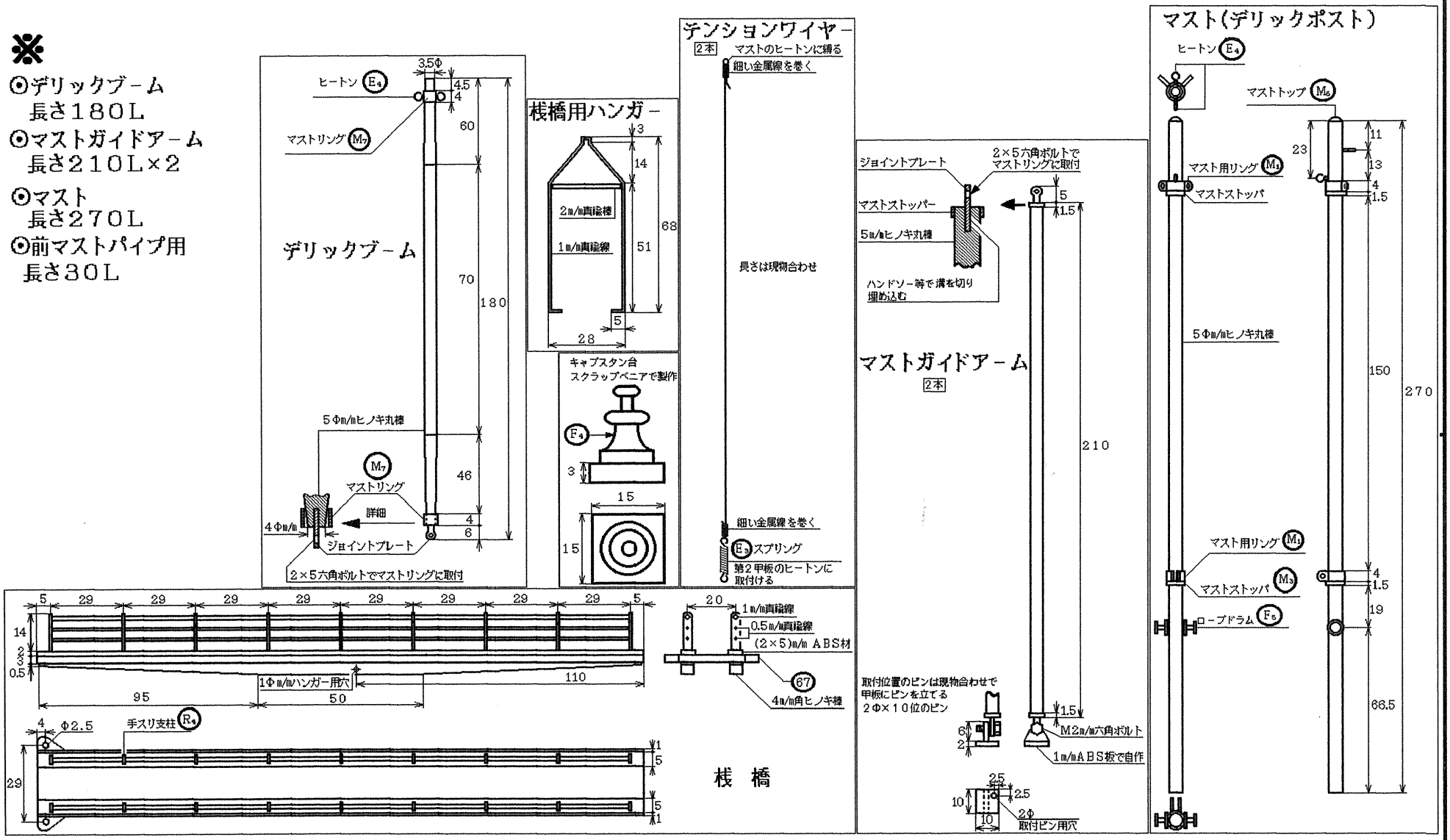
①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立１９

⊙ 桟橋関係の艤装部品は図の様に単独で組んだ後、次ページの様に組み付ける。

※

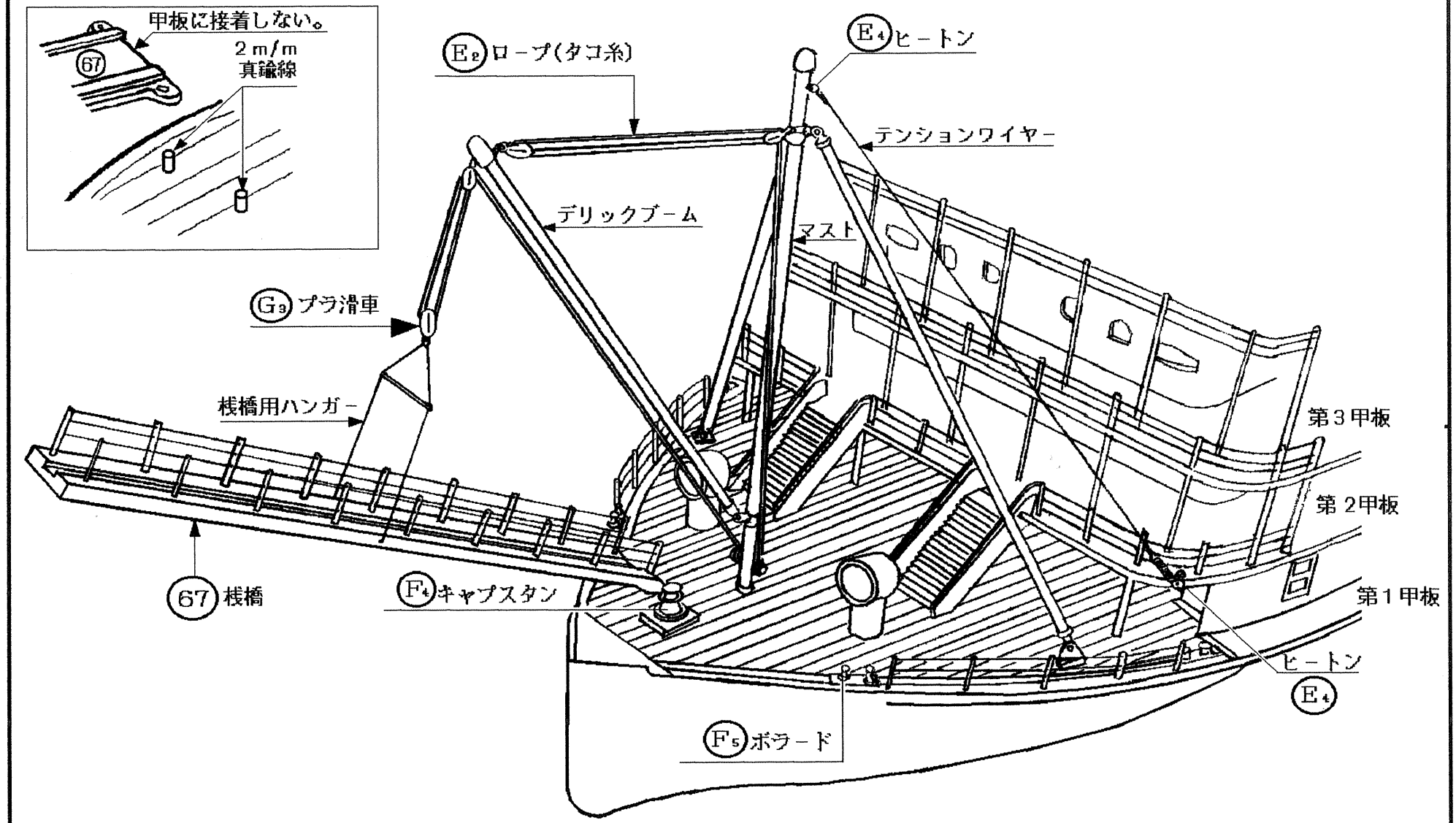
⊙デリックブーム
長さ180L
⊙マストガイドアーム
長さ210L×2
⊙マスト
長さ270L
⊙前マストパイプ用
長さ30L



①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立２０

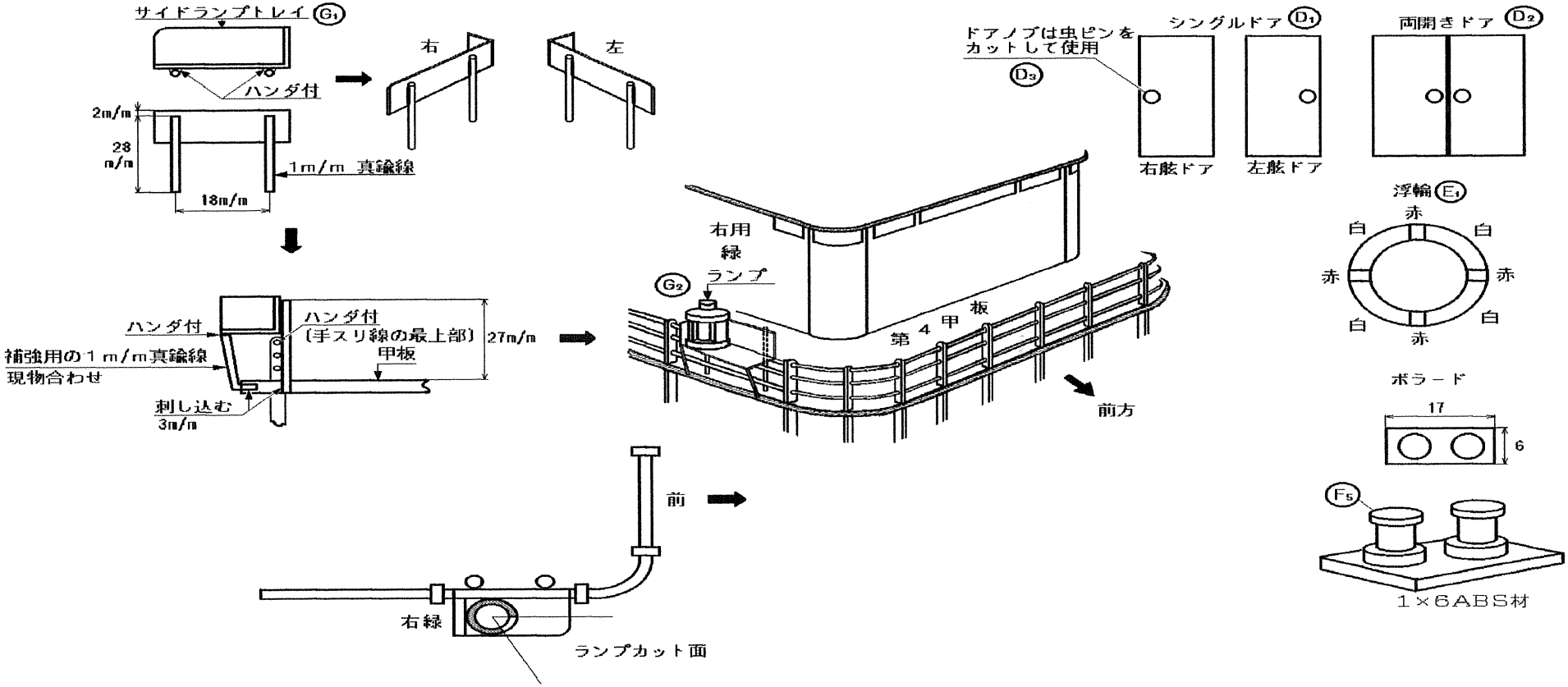
◉ 前ページの部品を図の様に組み込む。



①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

組立２１

⊙ 左右のサイドランプトレイに、図の様に２７m/m に切った１m/mの真鍮線をハンダ付し足をつけます。
⊙ 次に足のついたサイドランプトレイを図を参照して甲板に１m/mの穴をあけ図の様に刺し込みます。
⊙ 次にサイドランプトレイの足と手スリの最上部の線をハンダ付して固定します。
⊙ 更に図の様に１m/m真鍮線をハンダ付し、甲板の側面に１m/mの穴をあけ刺し込み補強用します。
⊙ 最後に航海灯を取付けます。航海灯の色は右舷用が緑色、左舷用は赤色となっています。
⊙ ドアはシングルドアと両開きドアが有ります。シングルドアの場合、右舷、左舷ではドアの開き方が反対になるので、間違わない様にします。
ドアノブは虫ピンをカットして作ります。
⊙ 浮輪は黒のゴム輪を白く塗装し、４ケ所を赤く塗装します。１２コ作ります。　⊙ ボラードは１２コ作ります。



組立２２

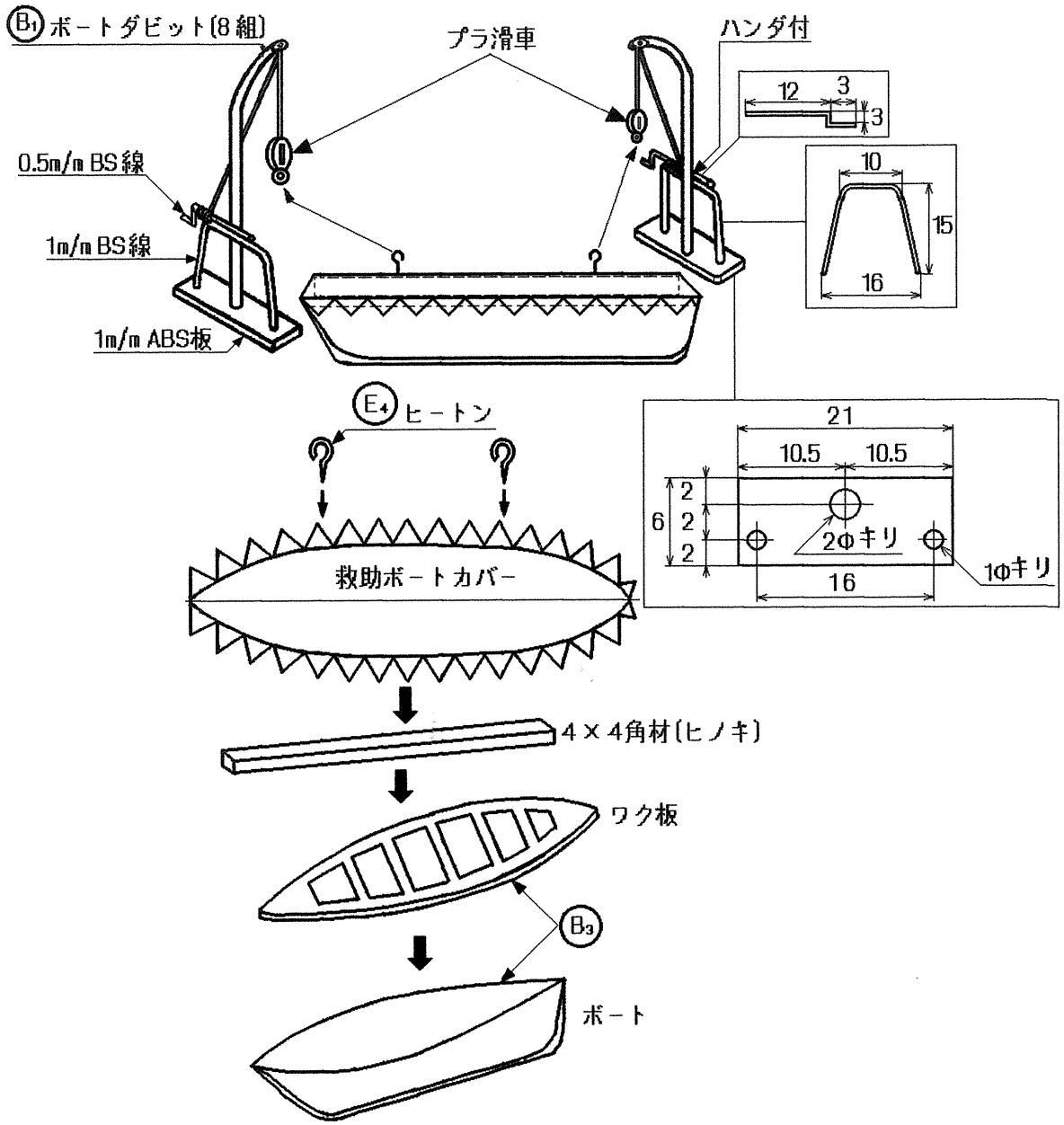
救助ボートは図の様にして４個製作します。

⊙ 手順はボートにワク板を接着し、それに４×４角材(ヒノキ)を接着し、救助ボートカバーを接着し、最後にヒートンを接着ねじ込みます。

※ 救助ボートカバーはメモ用紙位の紙を二つ折りにしその後開いてボートに押し当て型を取ります。
ボートに被して接着する部分は、ギザギザにカットします。
予め防水の為塗装をしておきます。

⊙ ボートダビットは図の寸法を参考にして製作します。

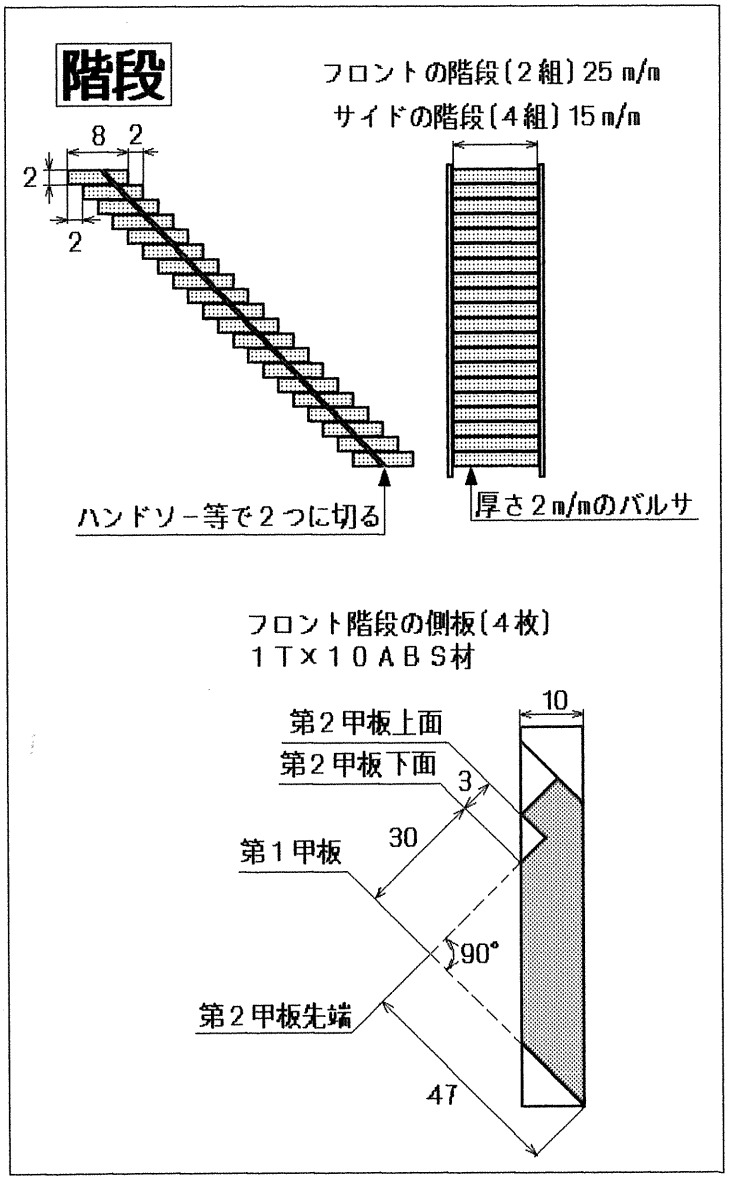
⊙ ボートダビットは８組、ボートは４組必要です。



組立２３

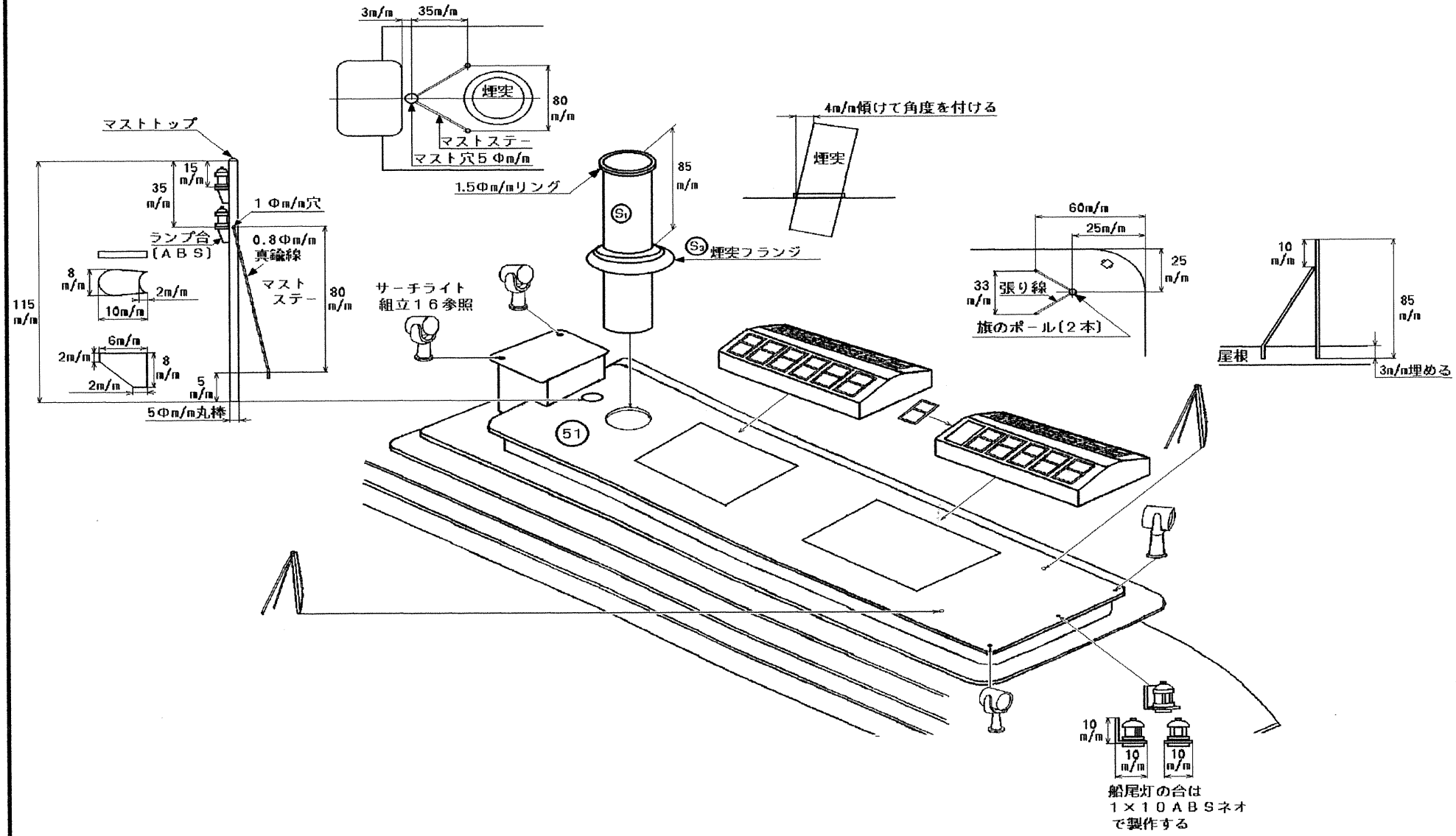
階段は図を参考にしてフロントの階段を２組、サイドの階段を４組作製します。

- ⊙ 厚さ２m/m、幅８m/mのバルサシートから階段になる部品を必要数切り出します。
  長さは、フロント－２５m/m、サイド－１５m/m
- ⊙ 切り出した部品は図の様に、約２m/mはみ出す様に重ねて接着します。
  重ねて接着した物はフロントが１組、サイドは２組作製します。
- ⊙ 出来た物を、図の様にハンドソーで２つにカットすると、フロントが２組
  サイドが４組出来ます。
- ⊙ サイドの階段は既に組んである船体に接着します。
  接着は３階部分のみとし、２階部分は接着しません。
- ⊙ フロントは図の様な側板を厚さ１m/m、幅１０m/mのＡＢＳ材から４枚切り出し
  階段を組付後船体に接着します。（現物合わせで確認します。）



組立２４

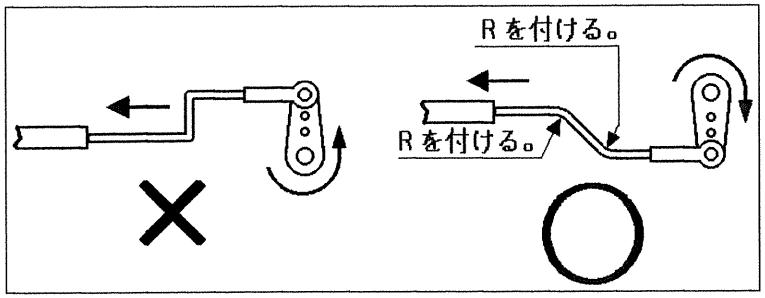
艤装部品を図を参考にして取付けます。（旗は好みにより取付けます。）

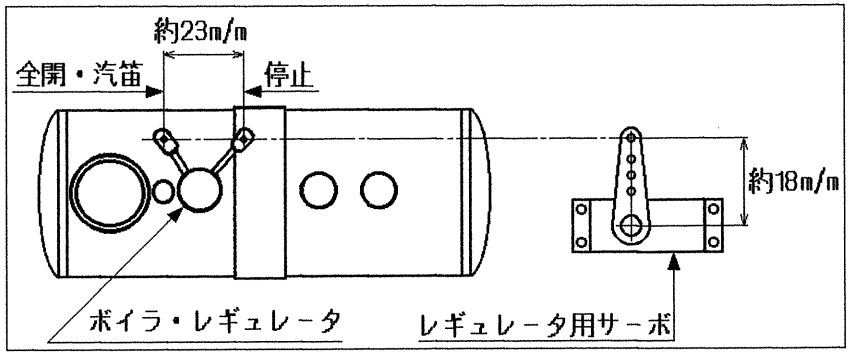


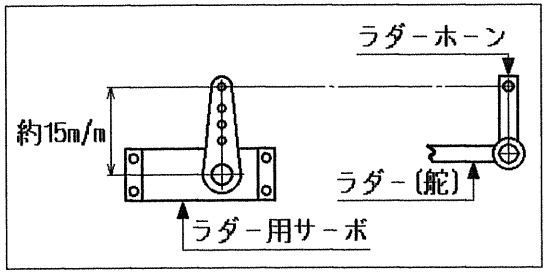
①:瞬間接着剤，　②:５分間エポキシ接着剤，　③:３０分間エポキシ接着剤，④:６時間エポキシ接着剤

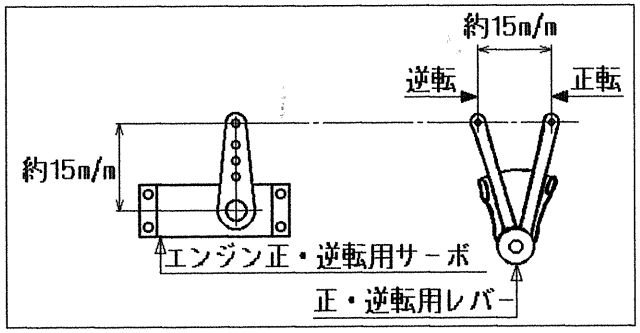
組立２５

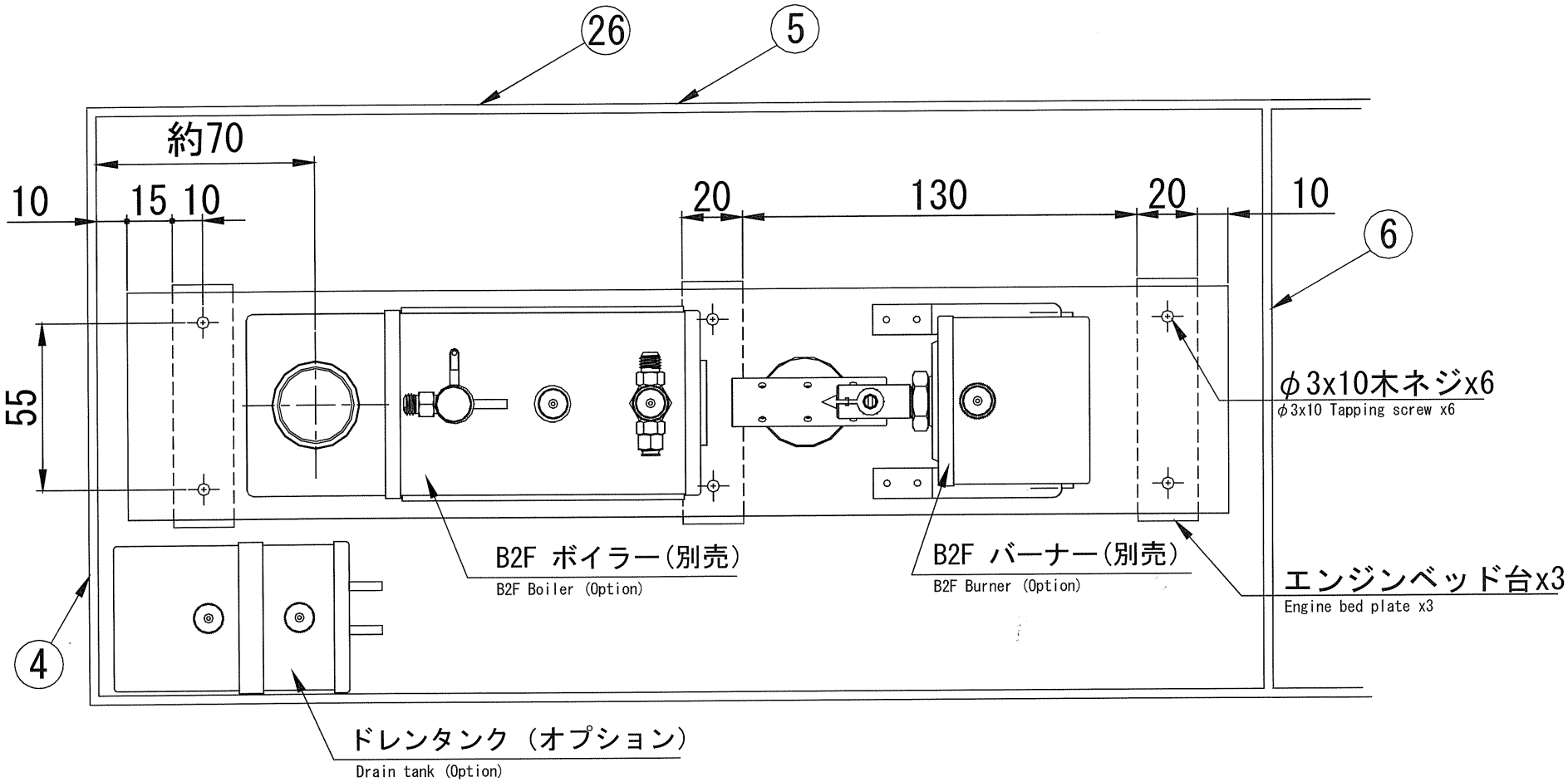
① 各サーボは、サーボ・ホーンの穴位置を調節して、必要な作動ストロークが取れる様にして下さい。
図の作動寸法を参考にして下さい。
② プッシュロッドは出来るだけ直線状になる様にして下さい。
どうしても長さを調整する為に曲げる場合は、図の様にＲを付ける様にして下さい。











ボイラーの取付け位置は、ボイラーの煙突とキャビンの煙突位置が合うように決定して下さい。

Determine the boiler mounting position to match the boiler's smokestack with the cabin's smokestack.

スチームエンジン取扱上の注意事項
（下記事項を遵守して下さい。）

☆ アルコール入りの容器は、バーナーにアルコールを注入後は必ず蓋をして、決してバーナーの近くには置かず離れた場所に、置いて下さい。
（火災の危険性があります。）

☆ 運転中は、エンジン、ボイラー、バーナー、煙突を決して上から見ないで下さい。
ボイラーの安全弁とエンジンの排気関係からはスチーム、煙突からは熱気、バーナーの安全弁からはアルコール蒸気が出ますので注意して下さい。（火傷の危険性があります。）

☆ スクリューが回転している時は絶対に手を触れないで下さい。（怪我の危険性があります。）

☆ エンジンが始動しない時に、スクリューを手で回して始動する事は大変危険ですから、決して行わないで下さい。
（怪我の危険性があります。）

☆ 走行中に衝突等もありますから十分に気を付けて下さい。

☆ 運転終了後は、ボイラー、バーナー、エンジンは熱いですから、十分冷める迄決して触れないで下さい。
（火傷の危険性があります。）

☆ ボイラー、バーナーを模型船以外の目的には使用しないで下さい。

☆ ボイラー、バーナー、エンジンの使用は自己責任において行い、事故等が発生しても当社は一切の責任を負わない事を御了承戴きました後、御使用下さい。

（株）斎藤製作所

SAITO SEISAKUSHO CO.,LTD.

〒272-0024 千葉県市川市稲荷木３丁目２２-７
ＴＥＬ:047-378-4156　ＦＡＸ:047-378-4155

VICTORIA (1) 手スリ支柱 (4-1)

NO	品名	略図	数	備考
R_1	手スリ支柱(R_1)		54	BS

VICTORIA (2) 手スリ支柱 (4-2)

NO	品名	略図	数	備考
R_2	手スリ支柱(R_2)		68	BS

VICTORIA (3) 手スリ支柱 (4-3)

NO	品名	略図	数	備考
R_3	手スリ支柱(R_3)		16	BS

VICTORIA (4) 手スリ支柱 (4-4)

NO	品名	略図	数	備考
R_4	手スリ支柱(R_4)		31	BS

VICTORIA (5) 窓 (6-1)

NO	品名	略図	数	備考
W_1	窓ワク(W_1)		128	AL

VICTORIA (6) 窓 (6-2)

NO	品名	略図	数	備考
W_2	窓ワク(W_2)		60	AL

VICTORIA (7) 窓 (6-3)

NO	品名	略図	数	備考
W_3	窓ワク(W_3)		78	AL

VICTORIA (8) 窓 (6-4)

NO	品名	略図	数	備考
W_4	窓ワク(W_4)		2	AL R付

VICTORIA (9) 窓 (6-5)

NO	品名	略図	数	備考
W_5	窓ワク(W_5)		右2 左2	AL R付

VICTORIA (10) 窓 (6-6)

NO	品名	略図	数	備考
W_6	窓用エンビ板		4	0.5t

VICTORIA (11) 動力系統部品 (2-2)

NO	品名	略図	数	備考
P_3	外輪軸受		2	M3(+)10m/mのネジ・ナット4本組付
P_4	軸受取付金具(P_4)		2	BS0.8t M3(+)10m/mネジ・ナット6本組付
P_5	軸受取付金具(P_5)		2	BS0.8t
P_6	シャフトカラー		2	外径8Φ 内径4Φ×3 BS
P_7	外輪クランクロッド		2	BS
P_8	外輪クランク		4	M4×4 セットスクリュ
P_9	クランクボルト ナット (ワッシャー付)		4組	BS六角M3X10 ボルト・ナット4本組 ワッシャー12枚付

VICTORIA (12) 動力系統部品 (2-1)

NO	品名	略図	数	備考
P_1	外輪シャフト		1	4Φ×150 ステンレス
P_2	外輪フランジ金具		4組	M3X4セットスクリュー4本 M2.6ボルト・ナット 16本組付

VICTORIA (13) 救助ボート部品

NO	品名	略図	数	備考
B_1	ボートダビット (サイド)		8	BS
B_3	ボート		4	ワク板付

VICTORIA (14) 操舵系統部品 (3-1)

NO	品名	略図	数	備考
C_1	前舵		4	BS
C_2	後舵		2	BS
C_3	ラダーホーン		3	M3×3セット スクリュー付
C_4	ラダーホーン(L)		3	M3×3セット スクリュー付
C_5	前舵パイプ		4	外径6Φ 内径4Φ×40 BST
C_6	後舵パイプ		2	外径6Φ 内径4Φ×25 BST
C_{10}	ラダーホーン 4連 ジョイントパイプ		1組	M2×5 BS六角ボルト ナット4本組付
C_{11}	ラダーホーン 2連 ジョイントパイプ		1組	M2×5 BS六角ボルト ナット2本組付

VICTORIA (15) 配管関係 (2-2)

NO	品名	略図	数	備考
ST_3	ドレンタンク ジョイントパイプ		2	4ΦBST
ST_4	ジョイントパイプ		1	両端ジョイント ナット付BST

VICTORIA (16) 艤装部品

NO	品名	略図	数	備考
G_1	サイドランプトレイ		左右 一組	BS
G_2	ランプ		5	サイドライト マストライト
G_3	滑車		12	プラスチック
G_4	前部甲板支柱パイプ		4	3Φ×30 BST
G_5	汽笛		1	バンドに取付済 3×6ビスナット付

VICTORIA (17) 操舵系統部品 (3-2)

NO	品名	略図	数	備考
C_7	ステアリング ワイヤー一式		1本	ワイヤ 600mm
			2	スプリング
			2	ボールリンク用 ロッド
C_8	ワイヤー用ブーリー ブラケット付		2組	2×8ネジ,2mmナット 木ネジ、ワッシャー4 ブラケット2
C_9	ステアリングワイヤ 用パイプ		2	3Φ×65 BST

VICTORIA (18) 小物部品

NO	品名	略図	数	備考
E_1	ウキワ用Oリング		12	P7Oリング
E_2	ロープ用タコ糸		3m	
E_3	ロープ用スプリング		3	
E_4	ヒートン		14	

VICTORIA (19) 配管関係部品 (2-1)

NO	品名	略図	数	備考
ST_2	ボイラ・バーナー 安全弁用ゴムパイプ		1m	外径5Φ 内径2.3Φ ネオプレーンゴムパイプ
ST_6	排気管連結 ゴムパイプ		500 m/m	外径5Φ 内径3.2Φ ネオプレーンゴムパイプ
ST_7	ドレンタンク ジョイントパイプ 押え金具		W-3 L-1	M2ボルト・ナット-3組 2m/m木ネジ2本付

VICTORIA (20) 操舵系統部品 (3-3)

NO	品名	略図	数	備考
C_{12}	リンケージロッド		5	2Φ×60 片ネジ
C_{13}	リンケージロッド パイプ		1	3Φ×25
C_{14}	リンケージロッド		1	2Φ×30 片ネジ
C_{15}	リンケージロッド 連結パイプ		各1	BST 3Φ×190 3Φ×185
C_{16}	ボールリンク一式		8組	2Φ×8 M2ナット

VICTORIA (21) 前マスト部品

NO	品名	略図	数	備考
M_1	前マスト用リング		2組	M2六角BSボルト・ナット付5 バンド2
M_2	前マストパイプ		1	外径7Φ 内径5Φ×90 BST
M_3	前マストストッパ		6	外径6Φ
M_4	ジョイントプレート		5	
M_5	サーチライト		4組	サーチライト 台付
M_6	マストトップ		2	
M_7	デリックブーム リング		2	

VICTORIA (22) 前甲板部品

NO	品名	略図	数	備考
F_4	キャプスタン		1	AL
F_5	ボラード兼 ロープドラム		26	AL
F_6	プレッシャー ベンチレータ		6	AL
F_7	ベンチレーター パイプ(短)		2	12Φ×25 ALT
F_8	ベンチレーター パイプ(長)		4	12Φ×52 ALT

VICTORIA (23) ドア部品

NO	品名	略図	数	備考
D_1	ドアD_1		35	AL
D_2	ドアD_2		21	AL
D_3	ドアノブ用虫ピン	カット	77	

VICTORIA (24) ネジ類

NO	品名	略図	数	備考
	エンジン取付ボルト		4	M3(+)25m/m
	エンジン取付ナット		4	M3六角ナット
	エンジン取付 スプリングワッシャ		4	M3
	エンジンベット 取付ネジ		4	3m/m×15 タップスクリュ
	ボイラーベット サーボベット 取付ネジ		10	3m/m×10 タップスクリュ
	平ワッシャー		18	M3

VICTORIA (25) 煙突部品

NO	品名	略図	数	備考
S_1	煙突S_1		1	39Φ×155 ALT (リング付)
S_3	煙突S_3		1	ALシボリ

VICTORIA (26) 木製部品

	品名	寸法	数	備考
	ボイラー・バーナー ドレンタンク ベット台	15×20×80m/m	4本	桧棒
	マスト，アーム用		5本 1組	桧棒
	エンジンベット用	15×15×400m/m	1	

VICTORIA (27) 長物関係

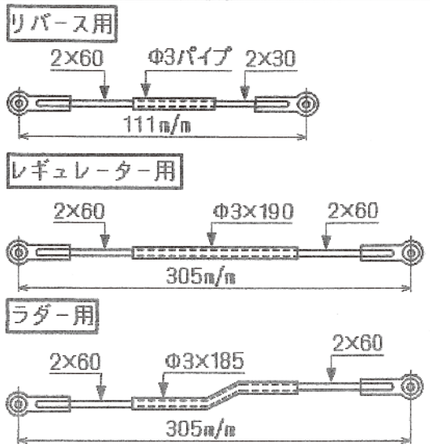
	品名	寸法	数	備考
	甲板材	1.5×6×600m/m	23	
	桧棒	4×4×900m/m	8	
	バルサ三角材	15×15×900m/m	1	
	真鍮線	2Φ×500m/m	1	
	真鍮線	1Φ×1m	12	
	真鍮線	0.5Φ×1m	18	
	真鍮線	1.5Φ×500m/m	1	
	ABS角棒	3×3×1m	1	
	ABS材	1×10×500m/m	1	階段用
	ABS材	1×6×500m/m	1	ボラード台
	ABS材	2×10×500m/m	1	
	ABS材	2×5×200m/m	1	

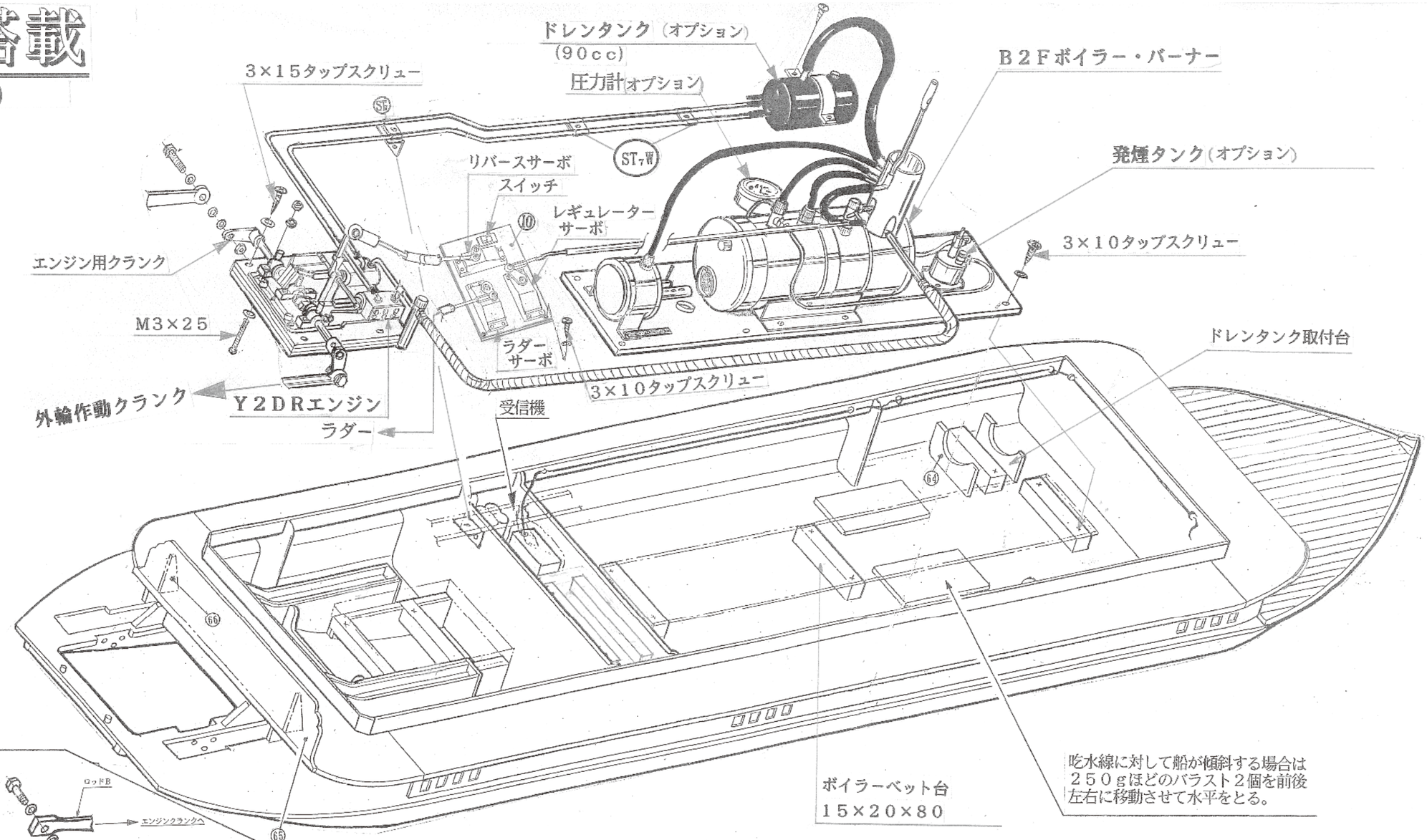
各メカの搭載

(VICTORIA)

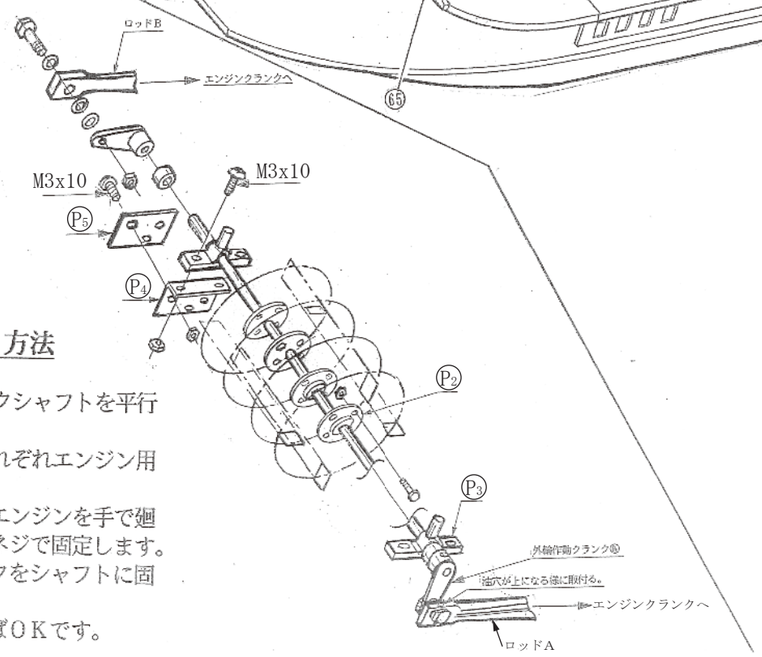
リンケージロッドの寸法

- リンケージロッドとリンケージロッドパイプは必ずハンダ付をします。
- ボールリンクと各ホーンはM２ボルトでネジ止めします。



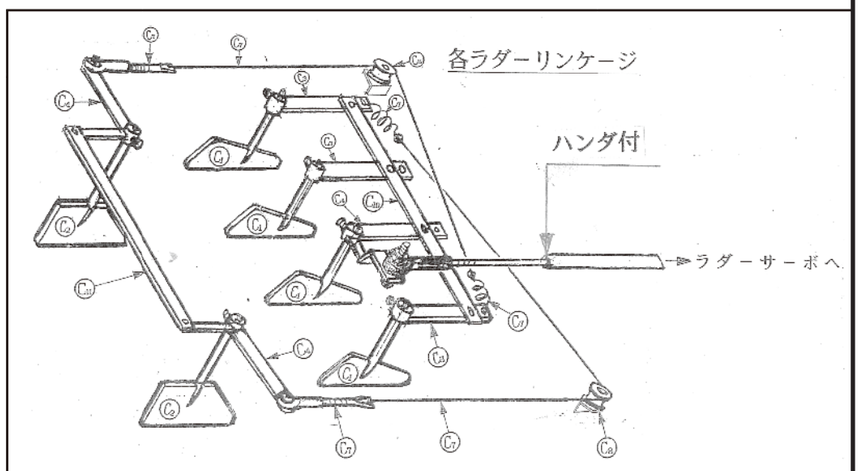


外輪の詳細

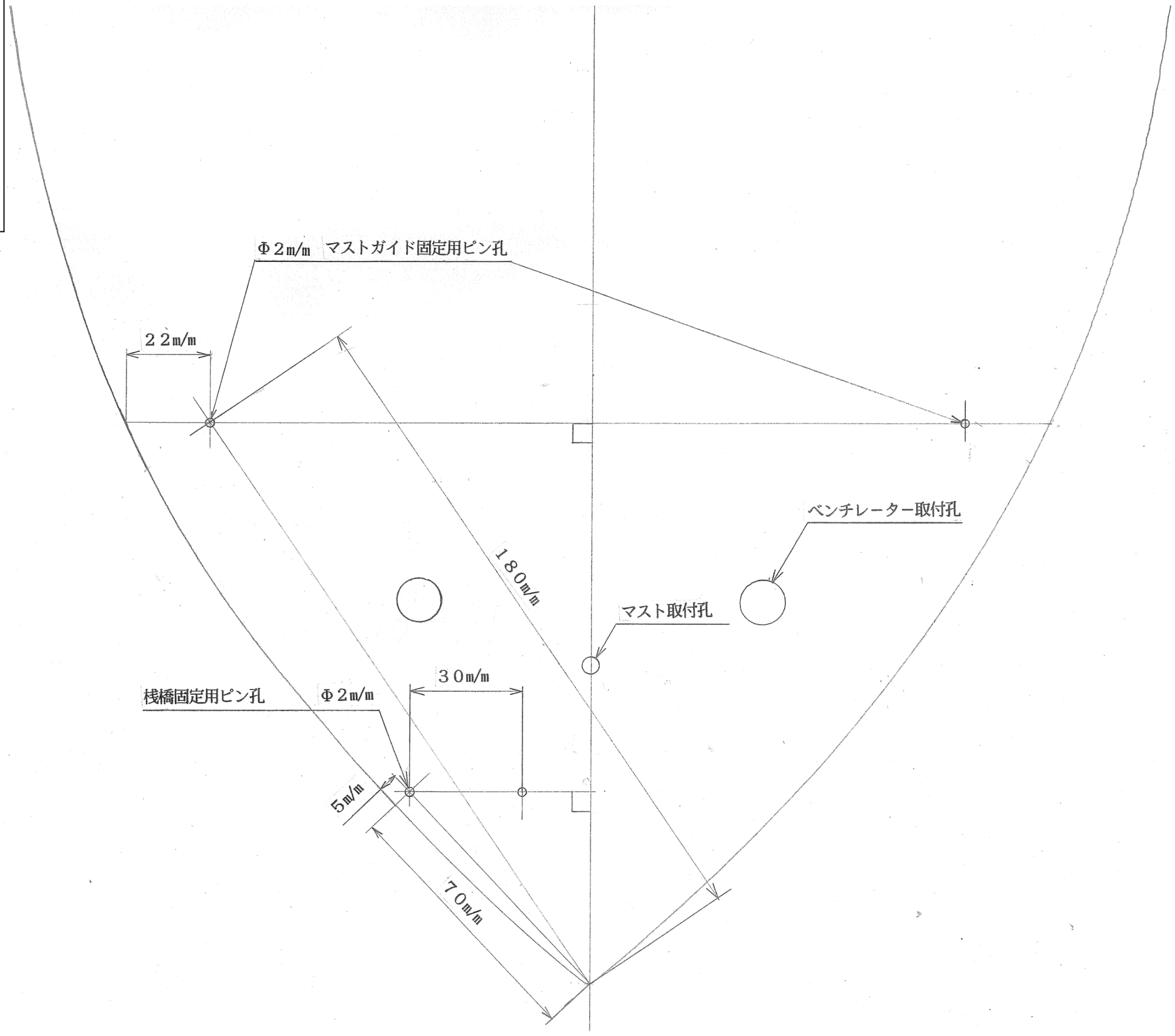


外輪クランク固定の位置と方法

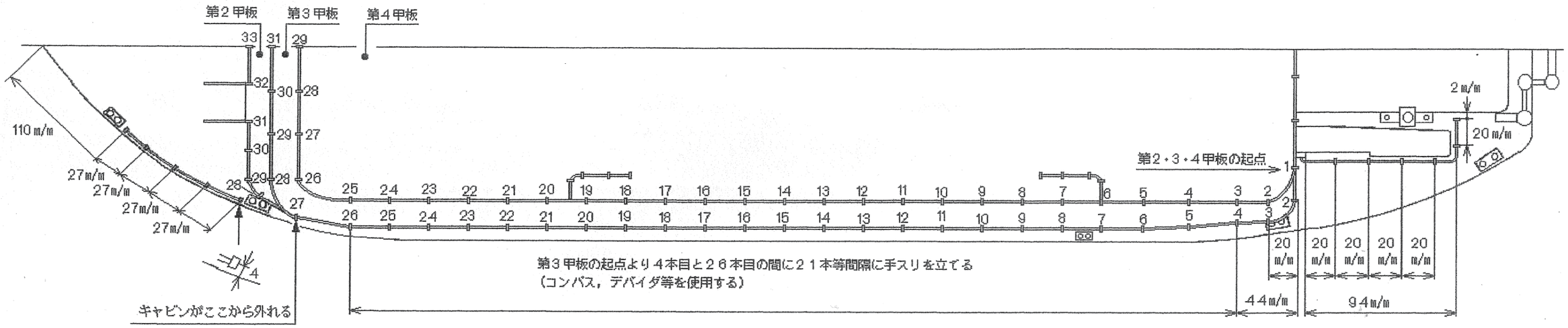
先ずエンジンクランクシャフトに外輪クランクシャフトを平行に測り船体に外輪軸受けを固定します。
エンジンクランクシャフトのスリ割り溝へそれぞれエンジン用クランクをネジで固定します。
ロッドＡを外輪作動クランクに取付けた後、エンジンを手で廻し、乍ら軽く廻る位置で外輪作動クランクをネジで固定します。
今一度同じ方法でロッドＢと外輪作動クランクをシャフトに固定します。
エンジンを手で廻して外輪がスムーズに廻ればＯＫです。

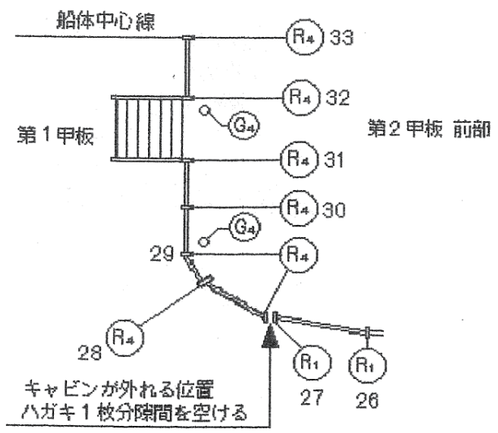


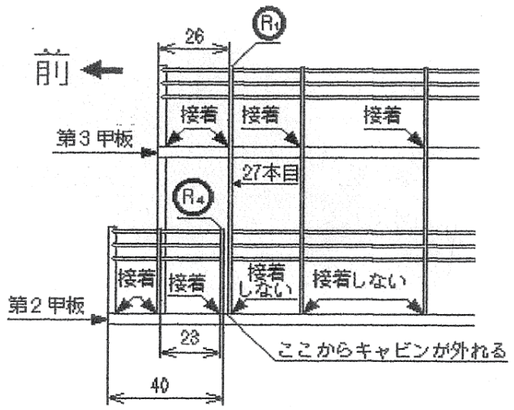
甲板部詳細
（船首側）

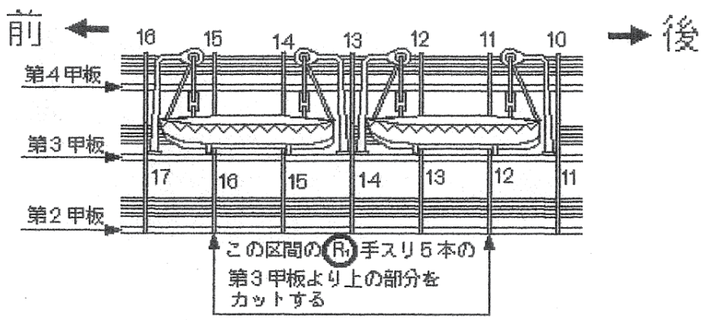

Φ２m/m　マストガイド固定用ピン孔
２２m/m
ベンチレーター取付孔
１８０m/m
マスト取付孔
３０m/m
桟橋固定用ピン孔
Φ２m/m
５m/m
７０m/m

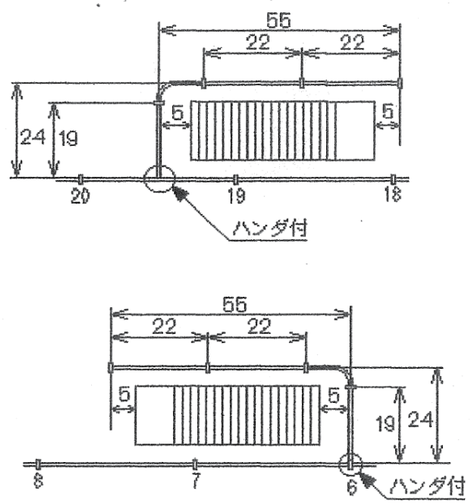
組立１７
一部拡大図


第２甲板
第３甲板
第４甲板
110 m/m
27m/m
27m/m
27m/m
27m/m
4
キャビンがここから外れる
第３甲板の起点より４本目と２６本目の間に２１本等間隔に手スリを立てる
（コンパス，デバイダ等を使用する）
第２・３・４甲板の起点
2 m/m
20 m/m
20 m/m
44m/m
94m/m


船体中心線
第１甲板
第２甲板 前部
キャビンが外れる位置
ハガキ１枚分隙間を空ける

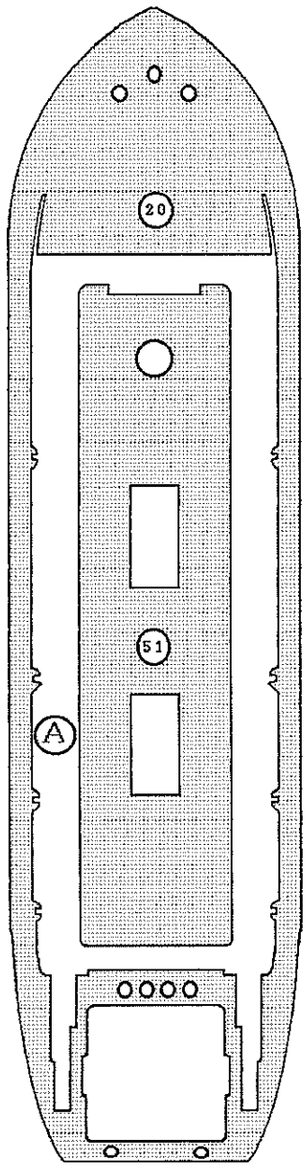

前
第３甲板
第２甲板
接着
接着しない
27本目
ここからキャビンが外れる

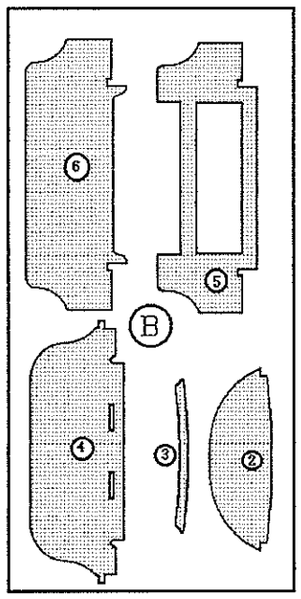

前
後
第４甲板
第３甲板
第２甲板
この区間の手スリ５本の
第３甲板より上の部分を
カットする

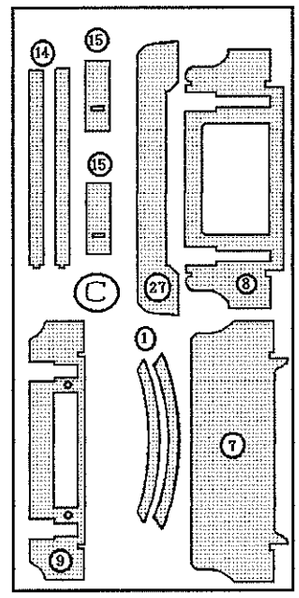

ハンダ付
ハンダ付

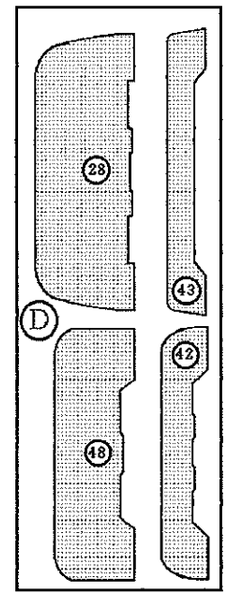
Lace board

Wooden parts

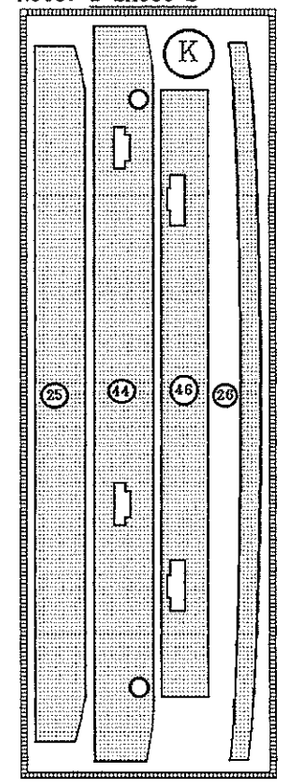


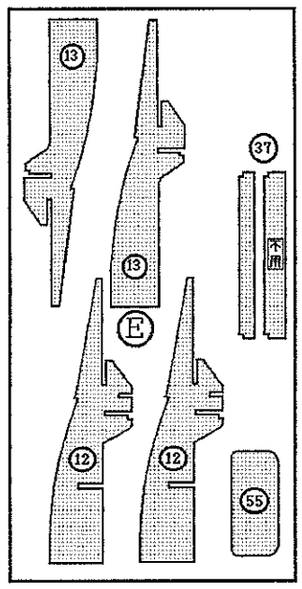


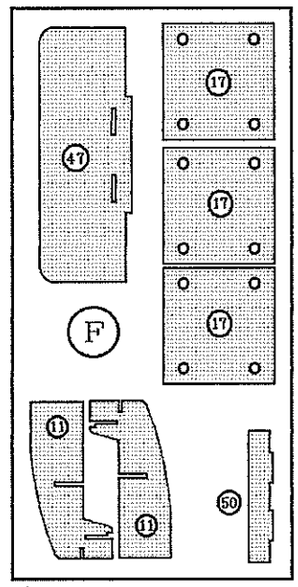


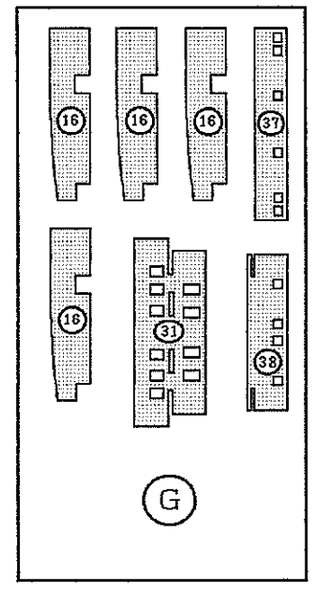


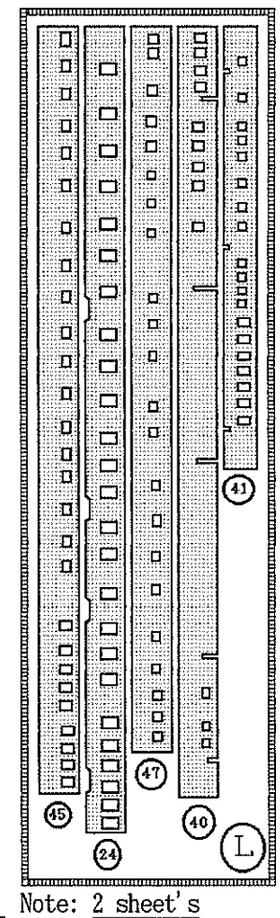
Note: 2 sheet's



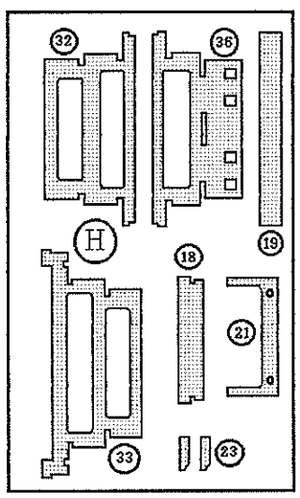


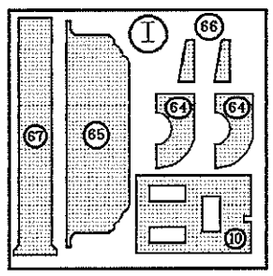


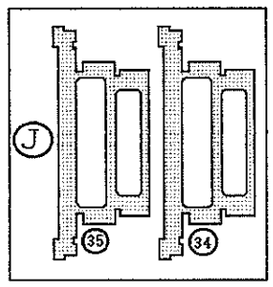




Note: 2 sheet's

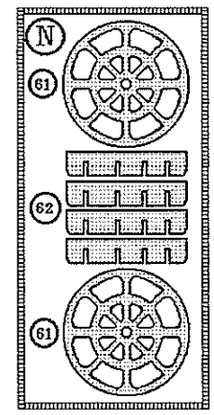




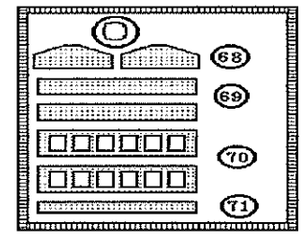


Diecut

	NO. of sheet's		NO. of sheet's
A	1	M	1
B	1	N	2
C	1	O	2
D	1	計	19
E	1		
F	1		
G	1		
H	1		
I	1		
J	1		
K	2		
L	2		

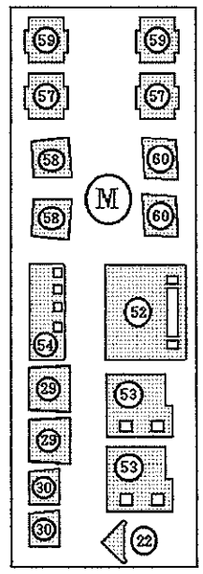


Note: 2 sheet's

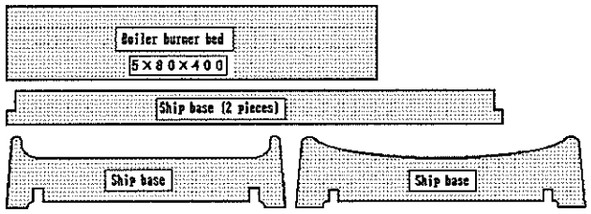


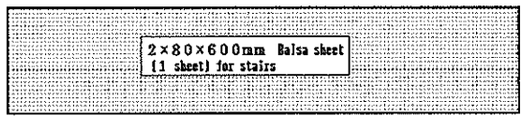
Note: 2 sheet's

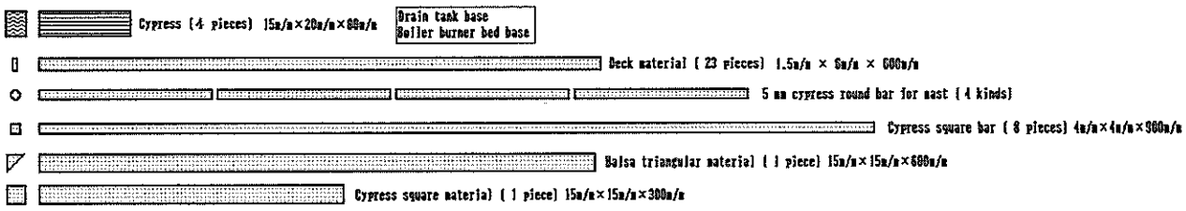
3m/m



Note: 2 sheet's

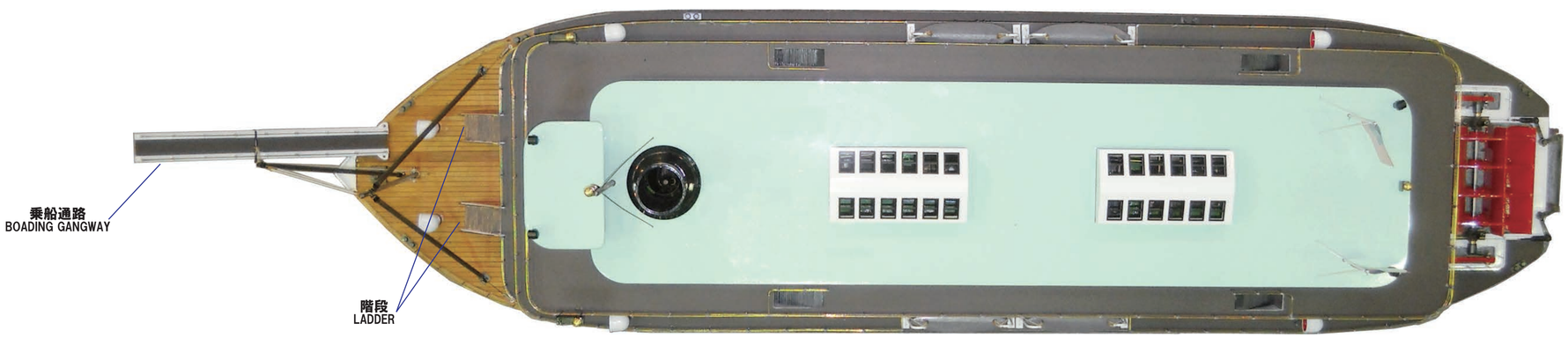


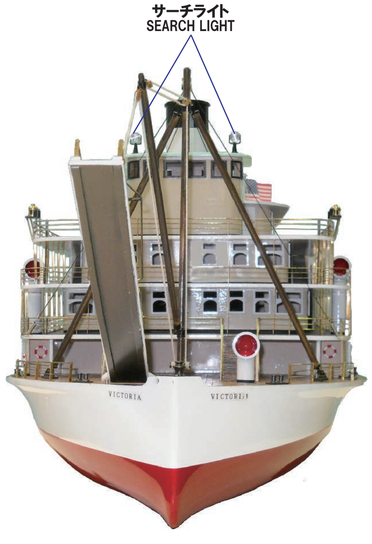


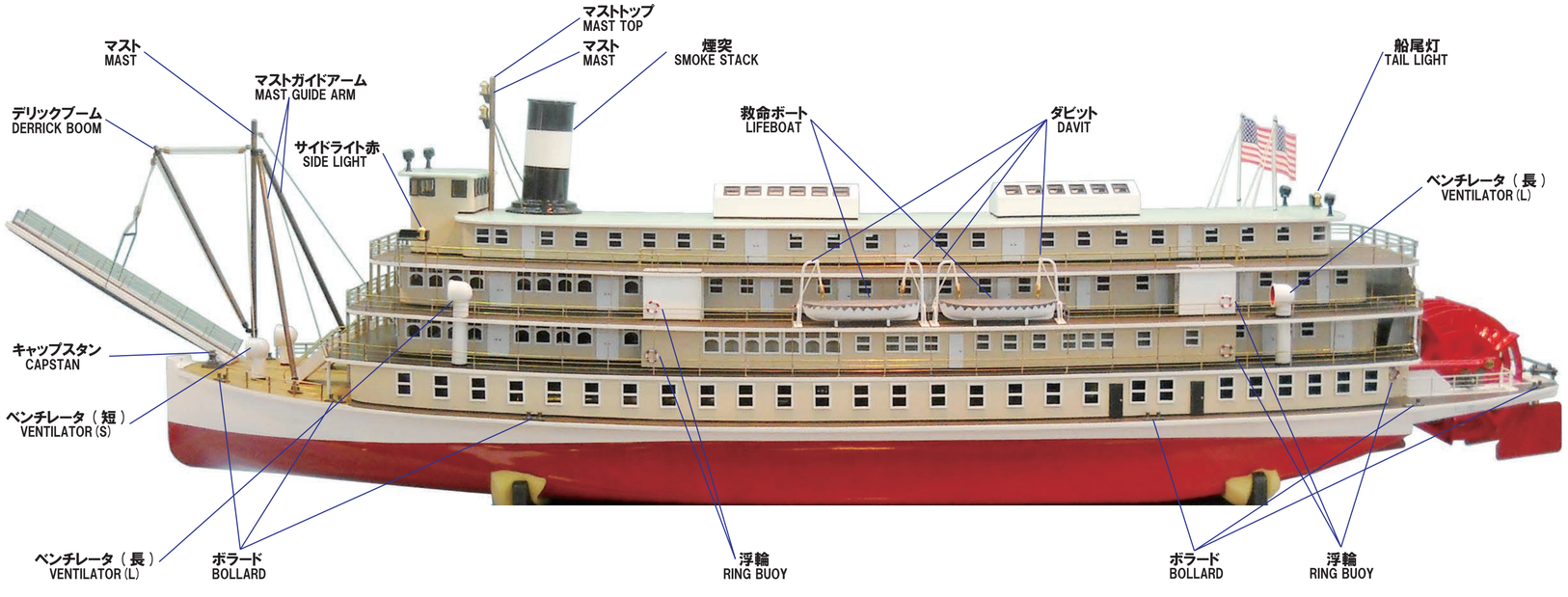


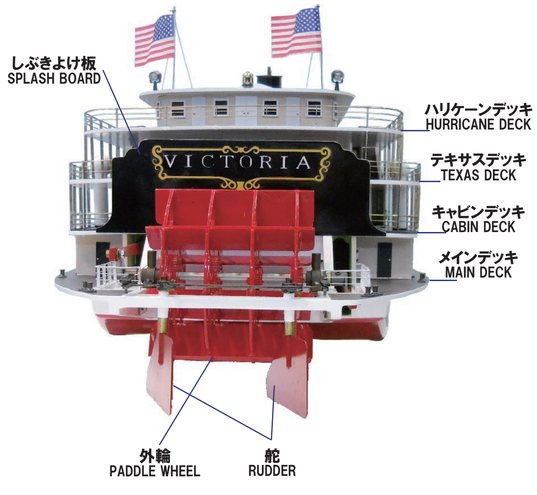
PADDLE STEAMER

VICTORIA









全長（LENGTH）：1,250mm
幅　（WIDTH）：310mm
全高（HEIGHT）：345mm
重量（WEIGHT）：約 7.0 Kg（バラスト無）
（NON BALLAST）

エンジン（ENGINE）：Y2DR
ＲＣ装置（Ｒ／Ｃ）：3ch(Y2DR)
ボイラー（BOILER）：B2F

※国旗はキットに含まれません。
The flags are not included in the kit

SAITO®